第11巻第10号　1967年10月1日発行

聖徒の道

10

VOL. 11　No. 10

予言者のことば
霊的な生涯が人の真の生命である……1

伝道部長会メッセージ
伝道について……3

△系図のページ▽
裁培した及び野生の「かんらん」の木のたとえ話……6

証詞
建築宣教師に召されて……8

特別メッセージ
極東にももっと光を……10

B・Y・Uはヒッピー族お断り……16
ミニスカート……16

MIAリーダー……17
扶助協会レッスン……20

〈予言者のことば〉

霊的な生涯が人の真の生命である

デビド・O・マッケイ大管長

もしも私たちが自分自身に真実であり堅く廉直であるならば、心を見抜き裁かれる神の眼に富める者となります。私たちの内にある真の生命は大体に於て私たちの人となりによってはかられます。けれども私たちは二重の存在であります。外部は私たちの肉体であり、富であってその中にある霊が真の生命であります。私たちは使徒パウロによって提案された完全な絵の重要性を無視できません。

〝実際、からだは一つの肢体だけではなく、多くのものからできている。目は手にむかって、「おまえはいらない」とは言えず、また頭は足にむかって、「おまえはいらない」とも言えない。〟

（コリント人への第一の手紙　一二・一四、二一）

私はこの比較が好きです。何となればそれは内部と外部の完結の重要性を提案しているからであります。体に注意する健康な人は強さと活気を持っております。彼の宮は彼の霊が宿るに適しております。この大切な体におそいかかる多くのものがあります。私たちは病気にさらされ、それが一つの機関に入ってくると、その部分が弱くなって他の機関を傷つけます。その結果肉体は、その攻撃に屈してしまうのです。このように肉体的な病気は、私たちの才能と特権を完全に働らかすことをできなくしてしまい、ある場合には、生命そのものをも奪い去ってしまうのであります。ですから肉体的な健康と幸福の法則を守る必要があるのであります。

ここに半世紀かそれ以前に書かれた、エドワード・エヴェレット・ヘイルの、生命のある肉体的事実についての観察の抜萃があります。

今世紀の危機は肉体的な衰微にあります。この危機は主として大都会に住んでいる人に顕著に見られます。今日のアメリカの都会の状態はその傾向をていしております。富の蓄積にとらわれて多くの男女が全く肉体的な保健に関心なく、大

競争に苦闘して遂には落下して不変の自然の法則の犠牲となってしまっているのです。肉体の諸機関が調和して働いているときに、いろいろな生物は、通常に強く健康でありますが、状態によって自然の機能が混乱すると、その部分がたちまち害われてしまうという普遍的な自然の真理があります。

けれども肉体的衰微の危機が重大である以上に霊的衰微の危機も重大であります。今世紀の危機は霊的無関心であります。肉体が日光や、よい食物や適当な運動と休息を必要とするように人の霊も、聖霊の日光と霊的機能の適当な実施を必要としまた肉体を侵す恐るべき病気以上に霊的健康を侵害する悪から遠ざからなければならないのであります。

私は今日この世で私たちの週辺に存在する状態に大きな関心を持たずにはおられません。今日程、悪の勢力がはびこったときはありません。私たちが危険な時代に生活している事実を疑う人はほとんどおりません。サタンとその軍勢は私たちの霊性を守る高い理想と神聖な標準に向って攻撃しているのであります。益々増大する犯罪の波に驚き恐れざるを得ないのです。子供たちさえもそれに滅され、青年はその渦中に捕えられ圧倒的に伝染して行くのです。あまりにも多くの若人たちが肉体の招きに応えているのです。それが容易で自然に為せるような気がするからです。あまりにも多くの若人たちが、空しく幸福への近道を求め、ただ人間の下等な欲情に耽るように誘惑されているのです。そのもっとも普通に見られる五つは、㈠下品と淫わい、㈡飲酒と麻薬の服用、㈢不貞節、㈣不忠実、㈤不敬であります。

肉体的な病気は人体を死に至らせるかも知れませんが霊は存続し、霊的な病気が勝てば生命は永遠に衰退するのです。

人々が霊的な病気にかかると、あまり宗教に関心を持ちません。彼らは霊的な必要を満たす必要はないと考えているのです。自ら満足せずして彼らは霊的な真の生活を楽しんでいる人を非難しているのです。何故でしょうか？　彼らは真の霊的生活がどのようなものであるかを知らないからであります。彼らは霊を侵す病気に屈服しているのです。

私は悪い仲間と交際し、その時間を、浪費している若い人たちのことを気にしています。彼らは自分自身を霊的なものから遠ざけて熱病よりも致命的な魂の慢性病にかかっているのであります。彼らは霊的病気の猛毒を持った病菌に感染しているのです。この状態は彼らを定員会の集会から、日曜学校から聖餐式からその他の教会の交りから遠ざけているのであります。彼らはこれらの霊的な、日光のあたる場所、健全な霊の働らく、これらの所に行く道徳的な力を失うのであります。

この外にまた霊的な毒の現れがあります。その心にその兄弟を憎む者は彼の霊的生命を傷つける病気であります。

その隣人をだます者は自分の霊を弱めているのであります。不正直な霊的病気であります。盗む者はキリストの完全さに成長することを阻害するものを、その心に迎えているのです。神と良心が正しいと告げることを実行できない者は、その霊を弱めているのであります。

もしも私たちが内心に真実であったらまた純潔であり誠実であったら、神は私たちと共に在り私たちを霊感して、外からの攻撃と試練は、丁度ライオンの国で神が守って傷つけられなかったダニエルのように私たちを傷つけることはできないでしょう。私たちはただ真理を求め、それに調和した生活をし、霊的生活を破壊し委縮させるようなすべての影響を拒絶する程度に応じて外面的に強くなるのであります。

私は教会の全会員特に若い人たちに、道徳とイエス・キリストの福音の霊的価値を推持するように励みなさいと訴えます。極言すれば

〝たとえ人が全世界をもうけても、自分の命を損じたら、なんの得になろうか。また人はどんな代価を払って、その命を買いもどすことができようか。〟

（マタイによる福音書一六：二六）

〈伝道部長会メッセージ〉

伝道について

田中健治
（第二副伝道部長）

「聖書はすべて彼を信じる者は失望に終ることがない」といっている。ユダヤ人とギリシャ人との差別はない。同一の主が万民の主であって、彼を呼び求めるすべての人を豊かに恵んでくださるからである。

なぜなら「主の御名を呼び求める者はすべて救われる」とあるからである。しかし、信じたことのない者をどうして呼び求めることがあろうか。聞いたことのない者を、どうして呼び求めることがあろうか。宣べ伝える者がいなくては、どうして聞くことがあろうか。つかわされなくては、どうして宣べ伝えることがあろうか。「ああ、麗しいかな、良きおとずれを告げる者の足は」と書いてあるとおりである。

私たちの生涯の大事件はなにかと聞かれたらほとんどの人が誕生と死、結婚を思い浮べるにちがいない。そしてこれらの大事件が自分のはっきりした意識の外の力で始められ終っていることに畏れの気持を抱くのではないだろうか。お互の自由の意志で決定され始められた結婚でさえ、そこに不思議な出合いと心の動きを見出すはずである。しかしこの生涯の最大の事件をたずね出そうとするなら、特に立場を替えて来世にあって（充分な永遠の知識を受けて）思うとするなら始めて真のキリスト教会の音信を受入れたときであることに気付くのである。そしてその最初の接触が決して重大な出来事としてではなく自分の心のあり方でどうにでもなる小さな出来事で始まったのを見付けそのときわずかな謙遜さか、好奇心か、同情心をもてたことに感謝するに相違ない。私のその日は私の心の一番固い時期にやって来た。物心ついてから二十数年プロテスタントとして育てられ、その教えに何の疑ももたなかった私が、成長して各宗派の違いや、教義の争いを見聞し、また聖書に書かれている教えと実際の不一致を見出し、さらに心を分け合った同志の間ですら熱心さによってだけでも深刻な不一致を体験するようになって多くの疑問を抱くようになって来たのであった。素晴しい尊敬するに価する牧師さんや神父さんとは思っても人の考えが多くの違いを生んでいるのに眼をつぶるわけには行かなかったのである。

『預言者の時代は去り、神様はもう亡くなられたのではないだろうか、キリストの教えはもっとも頼りがいのあるということに何の異論もないけれど、どこにその権威と、実際の行ないと、聖霊の顕現が救いの証明として人々の間に普通に見られる教会があるだろうか。きっと初めはあったけれど、もうないに違いない。そうならば仕方がないから私は私のやり方で出来るだけ一心に神の聖意をたづねて、いくらかでも実行出来るようにしたい。しかしこの結論は私を真の暗やみの中へつき落した。なぜならば不完全な私が、必要とする罪のゆるしが得られないからである。山上の垂訓によれば（私のもっとも頼っている処世訓）心の中にしか起きなかった悪意すらもとがめる厳しさは、許しがないなら生存することすら否定されているように見えるからである。例え実行しなくてもキリストが救主であると信じさえすれば許されると言う慕はしく甘い教義に身を委ねんか。世の中の進歩や人間自身の努力等はまるで影が薄れて来る。このような思いに裏付けられた毎日は私を外側からは死物狂いに見える努力と、いくらしても至らないと言う謙遜な態度で包み、周囲からの高い評判を得はしたけれど、自分の内部を直視する心には絶えず偽善者との声が湧き出でて不眠の日々を送っていたのである。しかしただ一つの希望は私が真の教会のバプテスマをまだ受けていないのだとのことに気付いてから一日一晩もかかさず祈り続けていた事柄であった。すなわち『どうぞ罪の深い私を憐れみ真のバプテスマ、水と火によるバプテスマを受けさせて下さい』これが受けられるならば生ける聖霊の影響を受けパウロの書き送ったように『しかし御霊の実は愛、喜び、平和、寛容、慈愛、善意、忠実、柔和、自制であって……』を真実自分のものに出来るに違いない」であった。それから約半年過ぎた春も浅い三月二十六日午前十時一人の若い太ったアメリカ人と一人の日本人の宣教師の訪問を仕事先から病のため帰省した両親の家に受けたの

である。二回目の家庭集会を始めた母と妹は再三私にも参加するように招いてくれた。しかし私は普通の一寸した熱心な教会なら興味がないとばかり参加しなかった。遂に母が来て次の言葉で私をうながした。『折角見えているのだから顔だけでも出さなければ失礼ですよ』と私を叱った。

何の期待も持たづ、あまつさえいやいや出席する私の胸の中には変な所があったらやっつけてやりましょうくらいの挑戦的な気持が少なからずあったことは否めない。

讃美歌も祈りも何の問題もなく、アイザックス長老は私に最初の一言を投げかけて来た。『神様は本当に生きています』と、私も答えた『私もそう信じています。またそうあって欲しいと願っています』。次に彼は『神様は肉体を持っておられます。姿は私と同じようです』私の答えは『私もそう思います。他の教会では肉体がなく見えないと教えているところが多いですが、聖書には明確に書いてありますから』彼は満面に真剣さを表して『私たちの教会は唯一の神様の正しい教会です』と言った。私も直ちに『ああそれは良いですね。熱心な教会ではどこでもそう言っていますから尊敬はしますけれどびっくりはしません。でも正しい教会であると断言する証明がありますか?』とたづねた。彼はためらはずに『はい私たちの教会には神権がありますから』と一言で答えた。この聖書の中にかって見たことのなかった言葉が私の心に興味と謙遜さを呼起してくれた。『**神権とは何ですか?**』今思い返してもこれ程時宜に適した質問はなかったと思う。このように素直な質問を発するように助けて下さった方は誰であったのか。彼はよどみなく答えてくれた。『それは神様の持っておられる権能と力です。ただの人が命じられて神様のお仕事をなすときに神様がお与えになるものです。この神様の権能と力がなかったら人は正しく神様に認められる仕事をなすことは出来ません。私たちも召されたときに宣教師としての権能を受けて来たのです。

この神権が与えられ、そして神様がそれをいつも認めて確認し導きを与えて下さるからこの教会は正しい教会なのです。そして古代の教会と同じようにこの教会には預言者がおり時々刻々神様と連絡があり、また聖書に約束されているのとまったく同じにすべてのことが実行されているのです』ほとんどが自分勝手な解釈や奉仕がもてはやされているときに何とはっきりとした道理を聞くことだろうと強く感じた。そして私の心は理屈で私の頭が悟り始める前に喜びの声を上げ始めていた。そしてそれと同時に〝狭き門より入れ〟との主の御言葉が私の高慢になろうとする思いを退けて一途に道理の道をつき進んでのやりとりが火のように烈しく行はれたことであった。それから二日間私は彼らと行動を共にした。どこかで馬脚を現すのを見つけてやろうと言う気持ではなく彼らのもっているものを一刻でも早く知りたいと言う願いが勝ったものだった。前橋市内を自転車で経めぐり家庭集会を傍聴し、話しかけやトラクティングを見、そばやに入り洗濯屋さんにYシャツを依頼し、風呂屋さんで互の背を流し合い、(当時はこのようなことが出来た。現在は彼等のプライパシーはきちんと守られている)。生野菜を山盛にした夕食を共に祝福して頂き、会員たちと行はれる討論を開き、最後に夜食を分けてもらって床を敷き、辛じて身体を両手で支えて就寝前の祈りをなし、到れ伏すと同時に寝につく。朝日と共に眼をさまし勉強会、玄麦のミール、レポート、etc。それは圧倒されるような四十八時間であった。彼らの若さや人としての不完全さは我々と同様に見えていても、いささかも批難する予地のない真面目で、明るくて、進取に富んだ、実に清冽な、主の望みたもうに違いない精神の横溢を見た。翌日宣教師の示したモロナイ書十章四節『またこの記録を受けるとき、それが真実なものかどうかをキリストの御名によって永遠の父なる神に問え。もし誠心誠意でその上キリストを信じながら問うならば、神は聖霊の力によってこの記録が確かなものであることをあなたたちに示したもうにちがいない』に従って雪の赤城山に祈るために弟を連れて登った。その日から私に喜びの毎日が始ったのであった。彼は翌年伝道中に交通事故に会い母一人子一人の二十才の地上での生命を終ってパラダイスに召された。

しかしそれから十六年、日本の伝道部には現在二百五十名の宣教師が私のかって垣間みた以上の毎日を送っている。当時の九百人のメンバーは今一万人に。世界中の百五十万だったメンバーは今二百七十万人になっている。今の日本での伝道から多少の統計を上げるなら一人の宣教師は年間二・五人の改宗者を得ている。これは彼らが初めて話しかけた人の一%くらいである。つまり見ずしらずの人に百人福音の音信を伝えて一人の方がそれをお受けになる状態である。彼らの奉仕をもし金額に換算したら驚くべき、額に上っているに相違ないし、多分そのお金を上げるから教会に入りませんかと誘ったら実に多くの方々が興味を示すに違いない。しかし伝道とはそのようなものではない。魂と魂が触れ合って、自分から受入れられるようにとの神様の慈悲深い伝道が百数十年ただ拡大一方の規模をもって進められている。私たちは更にもう一つのデータに眼を向けて一つの教訓を学び取るに違いない。会員の紹介されたお友達の方々の改宗されて真の神様を認識される割合は実に紹介者数の五十%に達すると言う事実である。そしてそのような方々が全改宗者の二十%程を占

めていると言う数字である。これは私たちが良い交際を人々の中で行い、信頼されているならば、その方を取りかこんでおられるお友達の内、興味を示される方の約半数が同じ祝福をお受けになれるに違いないと言うことである。そしてそれらの方々の絶対数は私たちの努力によって更に多くなられるように。憶することなく正しい生活、親切な生活をなし、そして神の教会を紹介しようではありませんか。伝道に会員として尽す心がけには今述べた紹介の他に宣教師に親切にし励まして上げること。求道者の方々を特に良く歓迎して上げ友達になること。自分の生活を神様の子供のように明るく正しく、愛深いものにすること。必ずフルタイムの宣教師として召されるように準備すること。（経済と精神と肉体と信仰の訓練）等上げられる。更に伝道生活の祝福として宣教師自身の人格の向上が上げられる。殆んど全てのリタンミッショナリーは立派な指導者として、幸福な家庭建設者として、神の兵士として最も優れた位に座するに相応しくなっておられる。各支部の支部長さんは自分の支部を強くしたかったら多くの地方部宣教師を召されるが良い。そして良い宣教師としての訳明を出来るかたをフルタイムの宣教師として召して一年半〜二年送り出されるならば最も早くあなたの支部は強くなるに違いない。私には伝道について二つの目標がある。第一は子供たちが年になったら必ず伝道に出られるようにしたいことであり、苦しい中からではあったが誕生と同時に貯金を始めた理由であった。もう一つは、子供たちが巣立って行ったら夫婦で伝道に出たいことである。その日迄私は機会をとらえ、気落することなく良い生活を続けて行きたい。まだまだ多くの方々が求めて得られないで悩んでおられるのは確かである。どの宗派にもひかれてない方、ある派に属して熱心に働きながらも更に良いものを求めておられる方、既に失望して自分の流儀を押進めておられる方々、まだ何も知らず純真な若い人々。実に多くの方々が準備されて待っておられる。『**誠にまことにわれ汝らに告ぐ、畑は早白くして刈り入れを待つ。然も日はすでに傾き働き人をわが葡萄園に呼び入るる最後の時なり……われ世界の四方よりわれを信じわが言葉を聴くわが選民を皆集めん。誠にまことにわれ汝らに告ぐ、畑は早白くして刈り入れを待てり。これを以て、畑に汝の鎌を入れ、勢力を尽し、思を尽し体力を尽して刈り入れをなせ**』。私は死んでパラダイスでアイザックス長老と会うか、生きたまま空中にあげられ主とお会いするときに会うかどうかはしらない。

しかしその会う日抱き合って嬉し涙をほとばしらせつつこう言おうと思っている。『あなたが尋ねて下さって私と私の家族たちはこのように幸福になりました。先祖たちもほらこんなに数え切れない程多勢あなたに感謝して会いたがっているのです。私はあなたが教えて下さったことによって神様を知ったのです。ありがとう、ありがとう』と。兄弟姉妹の皆さんこの神様の召しに応ずることが出来るよう。準備を常に励んで下さるように。各支部の指導者の方々は一人でも多くの立派な会員が召されるよう絶えず挑戦と手助けを与えて下さるよう。このプログラムに参加してはかりしることの出来ない大きな喜びを味はれますよう。イエス・キリストのみなによってお祈り致します。

アーメン

（16頁からの続き）

が発揮できる人は一人もいませんといいました。しかし、それは何年も前のことでした。今や、デザイナーたちは、ミニスカートは布地が少なくてすみ、それに普通のスカートと同じぐらいの値段で売れるという経済上の理由を見つけだしています。

やがて、ミニスカートはヨーロッパ全体にひろがり、フランスのデザイナーが息をついている間に（スカート丈を膝下に下ろしたばかりなのに）パリの女性の半分ぐらいが愛用するようになりました。

アメリカ人は、はじめそれを嘲笑していましたが、それもつかの間パリと同じようにロンドンスタイルが流行していたと思ったら、もう今ではたくさんの女性がおかしな形の膝だけでなく、腿までも表わして喜こんでいます。

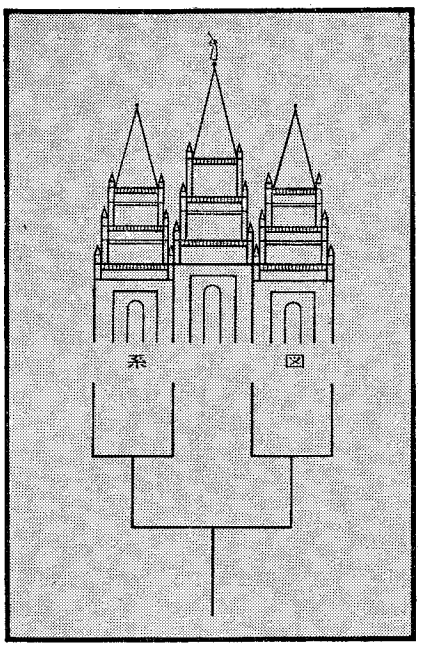
すると、英国からはよいものは何も生れないのですか？ とたずねられるかもわかりません。しかし、その答えは「いいえ」です。もっとも立派な血統と、正義と自由の原則は英国から生れたものですから。

マグナ・カルタ（一二一五年イギリスのジョン王に市民たちが人民の権利と自由を要求して認めさせた法律大憲章ともいう）がなかったら、英国人は現在どうなっていたでしょう。この偉大な国の議会の雄弁家たちによって、長い間かかって定められた法律がなかったらどこですごすことができたでしょうか。

そして、私たちの教会が苦難にあえいでいたときに、がんばり通した勇敢な数千の改宗者がなかったら、私たちは今日教会員として生存できたでしょうか。

しかし、どこでも同じことがいえるでしょうが、英国で生れたものがみなよいというのではないわけです。どんな人でも、「ミニ狂」が女性の魅力的な姿に健全な貢献をしたという人はいないでしょう。また、下降線をたどる道徳に対しても、なんの助けをしていません。

ミニスカートを好きなのはだれでしょうか。男ですか、女ですか、十代ですか。



裁培した及び野生の「かんらん」の木のたとえ話

リチャード・O・コーワン

族長、アブラハムは、キリストの約二千年以前に生存した人であります。創世記及びアブラハム書の両聖文には、この偉大なる人に約束された祝福が挙げられております。彼の子孫の義の故に彼は〝忠実な父〟と呼ばれたのであります。

この大いなる約束はアブラハムの息子イサク及び孫ヤコブに再新されました。ヤコブは首尾よく主から祝福を受けて、イスラエルと改名しました。（創世紀三二・二四―二八参照）

ヤコブ又はイスラエルは〝イスラエルの十二支族〟の祖先となった十二人の息子たちを持ちました。長子相続権の律法によると長男は二倍の相続財産を受けるのでした。ルベンが罪を犯しその家督権を失ったので末から二番目のヨセフがこれに代りました。（創世紀三五・二二四九・四）ヨセフがこの特権を持ったのでヤコブはヨセフの二人の息子エフライムとマナセを彼自身のもののように見なしました。（創世紀四八）このようにしてエフライムとマナセはヤコブの単なる一支族となる代りに支族の頭となったのであります。これに加えてレビの子孫はすべての他の支族の間に在って小神権に奉仕する特別な任務を与えられました。

四百年間の奴隷時代それに荒野に在った四十年間を過した後、イスラエルの民又は子孫は紀元前約一二五〇年に約束の地に入ったのでありました。彼らは最初氏族判事制度によって統治されていましたが民は隣の民族に対抗できるように、彼らを結合して強くする王を要求しました。サウル、ダビデ（約紀元前一〇〇〇年に王位に着いていた）及びソロモンと引き続いて連合王国を統治しました。この連合は、その後間もなく終って北方の十支族は、ソロモンの息子レハベアムを認めず、彼らは連合から脱してヤラベアムの下に彼ら自身の王国を建てたのであります。いわゆる北方王国はイスラエル国又はその支族の優勢な為にエフライム国としても知られております。

附表は、イスラエルの散乱と集合の大切な局面を要約したものであります。（信仰箇条の研究一七―一九章、奇しきみ業　一五―一六章　参照）

幾度か集団が散乱し又一度ならず集合することに注意しなさい。北方王国に組した集団が西半球、シオン又は新エルサレムを末日に集合の中心とし、南方王国からの者は東半球に於て再建されるであろう旧エルサレムに集合するであろうことは興味あることであります。リーハイがエルサレムを去ったことは真実であります。けれども彼の一国は、その子孫が北方の種族に数えられているヨセフの子孫でありました。この表はまた集合の予言が現在進行中であり、その完全な成就は尚将来に在ることを示しております。

モルモン経は、イスラエルの歴史を、たとえ話（ヤコブ書五章参照）で告げた昔の予言者ゼノスの書いたものを引用しております。三節から十四節でゼノスはイスラエルを古くなり腐りはじめた（背教した？）裁培したかんらんの木に比べております。樹木園の主人（または世）の世話によって木は新芽を出しあるいはまた、元の自然の枝は樹木園の一番端の方まで持って行って、植えられたのであります。（イスラエルの散乱？）よい実と悪い実をもたらした最上の地に植えた枝を除いて、すべてこれらのものは、よい実をもたらした。（ニーファイ人とレーマン人？　一五―二八参照）

二十九節から四十八節までは如何に野生の枝（異邦人の影響？）が裁培した木の根を負かして悪い実をもたらしたかを述べております。散乱した枝々さえも腐った実をもたらしました。（全般的背教？）四十九節から七十四節までは主人と僕たちが最後に（末日？）樹木園に働らきに出かけたことを示しております。彼らは接木された元の自然の枝からの芽をとって元の親木に接ぎました（イスラエ

ルの集合？）

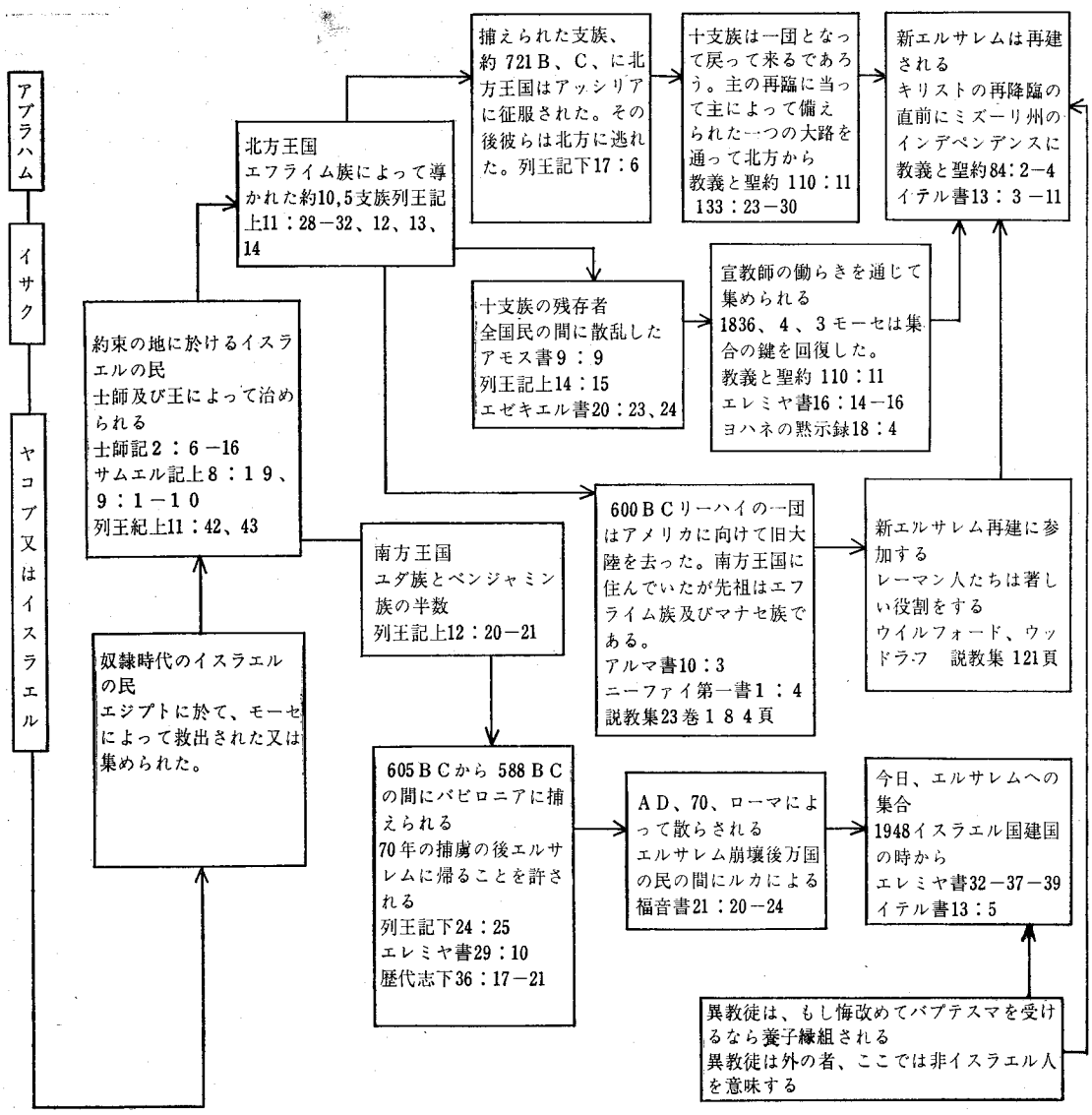
同時に彼らは親木から枝をとって園中の樹に接木しました。（全世界を通じての支部の設置？）

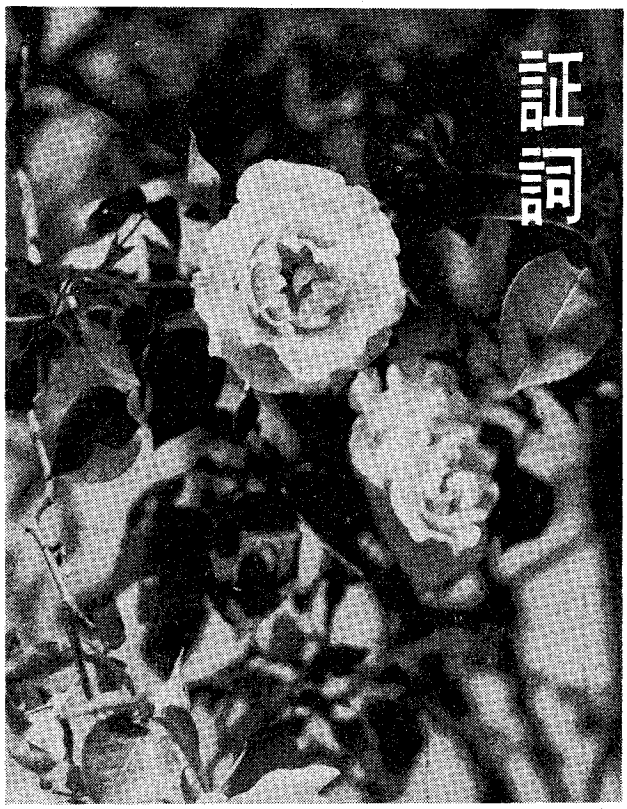
この努力によって他のすべての実に勝る自然の実が再び生産されました。（福音の回復？）

七十五節と七十六節によれば腐った枝は火に投げ入れられ（福千年前の地上の浄化？）主人とその忠実な僕たちは、長い間（福千年？）彼らの働きによる実を楽しみました。七十七節にある通りの終りが来たら、樹木園に再び悪い実が現れ（サタンの解放？）主人は善いものと悪いものを、それぞれの場所に集め（裁き？）樹木園（地球）を火によって焼き亡ぼすのであります。

このように予言者ゼノスは、イスラエルの歴史を最初から、この地球が火によって焼き尽くされて、日の光栄の世界となるときまで、たとえ話に挙げております。既に示したように、主はその誓約の民、イスラエルの各種の枝を保存しようと望んでおられます。このように集合は今日の神権時代に完成すべき最も大切な仕事であります。集合して来た私たちは、アブラハムとその子孫に約束された、偉大な祝福にふさわしい者であることを証明しようではありませんか。キリストの教会の忠実な会員は末日の真のイスラエルに教えられることを覚えようではありませんか。

栽培した及び野生のかんらんの木
イスラエル人の散乱と集合





証詞

建築宣教師に召されて

福島克明

「彼らは持てるかぎりのなけなしの財産を幌馬車に積み、酷寒の時候にミシシッピー川を渡った。彼らの後にはイリノイに住むことを許された七年間にコマースの沼地から築き上げた家があった。彼らの前には大部分人に知られていないまた地図にも誌されていない荒野があった。」

一九六二年の六月に、十八才であった私は「モルモンとは?」の中の〝出ノーブ〟を読み始めておりました。バプテスマを受けて一年半が丁度経過しておりました。その間に聖典のほとんどには目を通しておりましたけれども、その理解するところは浅く、証詞というものが私にはあるのだろうかと思う程、小さく弱いものでした。そういった状態のときにこの文章を通して、初期のモルモンの人々の生きた信仰というものに私の心が触れて、自分のこれからの歩ゆみがどのようでなければならないか、そしてモルモンと呼ばれる人々の持っておる信仰は実にこうであらねばならないということを、深く感じ心に刻みつけたのであります。私がその聖徒たちの中にあったら私は彼等のごとくに、家をすて、土地をすててそれでもなおかつ、ジョセフ・スミスの見神を受け入れ、彼が回復したすべてのことをへりくだって受け入れ、予言者の言葉に従うことができたであろうかと、迫害の苦しみに耐えられずにモルモンの名を捨てるのではなかろうか?と、けれども、今でも自分たちの回りをみれば、同じようではないだろうか。そう考えたこのときに私は初めて自分で自分自身の心の中に生ずる証詞というものを感ずることができました。そしてこれと前後して、私よりも後から教会員となった若い方々の外で人に示す純粋な信仰に啓発されてモルモンの変わらぬあるべき姿を捕えることができました。そのときに大いなる証詞と信仰とを示して下さった方の何人かは今教会で会う機会がなく、寂しく感じますが、しかし、私の証詞と信仰は彼等の行ないの如何に拘わらず正しく父なる神に向けていたいと心に決めております。

そのときから現在に至るまでの間に、沢山の試しに出会いましたけど、主の恵みと御手の支えに依って、その一つ一つを正しく為すことができましたことを深く感謝しております。中でも「智恵の言葉」については、本当に感謝しております。なぜなら、それを私が今までに何十回となく人々の前で「モルモンなのでお酒やビールは飲めません。」というときに、その人たちを主が柔らげて下さり、よき理解と親切とを彼等から受けることができておるからです。何回目かの会社での宴会のときに、彼等は私がモルモンであることを宣言する前に、モルモンに相応しいジュースやサイダーを沢山前にもってきて下さり、かつ加えて彼等の食べる料理を「君は飲まないんだから、ガンガン人の分まで食べろ!」と言ってもってきて下さったことです。このときばかりは本当に不思義なことが起ったものだと、ただその人の顔を見るばかりでした。また中には人一倍酒が好きなのに、他の人には無理にも勧める彼が、その人

たちに向って「彼には飲ませるな」とストップをかけてくれたことでした。それでも私は機会があるたびに主に祈ってからその場に臨んでまいりました。そしてあるときに言われたものでした。「君は酒も飲まないのによく一緒になって彼等と楽しむことができるね、君が一番楽しんでいるんじゃないか」と、もう私は智恵の言葉については自分が誰と共にいようと、また如何なる場所にいようとも、それを充分に相手にも迷惑をかけずに行なうことができる力を主が与えて下さっておることを証詞したいとおもいます。十九才の私には本当に嬉しく感謝で胸が一杯になって家に帰って行ったその夜を忘れることはありません。

それからも色々なことを通して、私はこの回復された神の教会の一員であることを喜び、小さな力ではありますが主の御業に参加できておりますことを心から感謝致しております。

私は今も、自分たちはこの日本の他における開拓者なんだという気持で、どこででも、モルモンの名前が良く聞かれるようになるために支えられた戒めを忠実に守り、指導者の言葉に素直に耳を傾けて、自分の務めを果していきたいと考えております。

私を育てて下さった母や、支部の支部長会を初めとして多くの兄弟姉妹の深い理解と愛と協力とを受けて、現在建築宣教師として主の教会堂建設にこの小さな力を加える機会のありますことを心より感謝致しております。すでにこの機会を通して自分自身をさらに成長させることができておりますことを感謝するとともに、心からへりくだり祈り、そして求める者には主が豊かな恵みをもってその道を与えて下さることを証詞します。また福音の中に生活する人には主が安らぎと勇気を与え、信仰を祝福して下さることを証詞します。

イエスがキリストであり、彼と父なる神を少年ジョセフ・スミスが実際に会ったという事実を心から証詞致します。そして今なお、この末日聖徒イエス・キリスト教会を通して天よりの啓示が私たち一人一人に与えられておりますことを、そして神権の力を通して神の御業が進められておりますことを、真実なものであるということを証詞致します。

真実な教会に導かれ、永遠にわたって福音の中に生活し、神よりの祝福を受けることができることを感謝しつつすべてを救い主イエス・キリストの御名に依って証詞致します。アーメン

詩

建設者

すべての人が
このときの壁に働らく
運命の建築師である
ある者は巨大な腕を振い
その業績は偉大だ
その余韻を飾る者もある

無用の者または低級な者は一人もいない
すべてのものがその持場で最上なのだ
無益に見えるものが
他のものを強め支持しているのだ

我々が、建てる建物のため
ときは資材で充たされた
今日また昨日は、我々が積上げるブロックだ

真にこれらを型造るに
少しのすきまも残さない
人が見てないと思わずに
人には見えぬど残るものだから

建築美術の遠い昔には
建築師たちは
寸時、見えないところを
何処でも見ておられる神のために
細心の注意をして働らいたのだ

我々も同じ心で働こうではないか
見ておられようとおられまいと
神も宿り給うような
美しい完全な潔い宮造りに

でなくては我らの生涯は完成されず
このときの壁に立ち向いて
この破壊された階段を登ろうとすれば
その足は、つまづく

では今日建てよう
固い広い土台もて
強くたしかなものを
そして安全に登り
明日はその場を見出そう

そうして始めて我々は
世界を一望に見渡せる
また無限の大空にも届く
動楼に到達できるのだ

極東の聖徒にも、もっと光を

管理監督会第二副会長

ビクター・ブラウン

私の愛する神権をもつ兄弟の皆様方、そして小松姉妹、皆様方と共にこうして集い得たことを本当に私の喜びとするところであり、この喜びは何にも他に例えることはできません。昨日私共が、かん国のソウルにいましたときに、聖さん会で話すように頼まれました。

私の通訳はその席上で私以上に立派な話をして下さいました。同じことが今晩も起るだろうと思います。

私がこれから申し上げます質問に皆様がお手を上げて下さいますと、私は皆様方を更によく知ることができますのでお願いします。

会員になられて一年以内の方おられますか、二年以内の方、三年以内の方、四年以内の方、五年以内の方、六年以内の方、十年以内の方、十年以上の方、どうもありがとうございました。神殿にお出でになった方お手を上げて下さい。本当に心から感動するシーンでございます。

今晩皆様方にこうしてお目にかかれますのは、本当に光栄の機会でございます。

先程ファイアン兄弟がお話しになりましたように、私共はとても大切な使命を帯びてこの地にやってまいりました。

新しい日が今や日本に訪れようとしています。ファイアン兄弟は先程この席に今おられる方は日本中でもっとも大切な方だと申されました。確かにその他にも日本には大切な方々がお出で下さいます。しかし神の御名によって神に代って神の業をすることができる皆様方を置いて教会の会員以外で大切な方はいないのでございます。そして皆様方がなされるその神権によって行なわれる業は天国で承認されるものでございます。

皆様方が「感謝す予言者」のお歌を歌って下さったとき、私は皆様方のお歌いになるその言葉を理解することができませんでした。

しかし皆様方が皆様方の心にもち合せていらっしゃる、その精神スピリットをよく感じとることができました。このスピリットこそ、この精神こそ、すべての言語障害を乗り越えて私たちを一つにするものです。

私は約二年前ブラジルのサンパウロにおりました。皆様方と同じように神権指導者の方にお話しをいたしました。その話しをした二週間後にステーキ部が組織されました。

そういったからとて、この地でステーキ部ができるとは考えておりません。

二週間後でないかも知れません。しかし遠からずできると思います。ステーキ部ができるかどうかは皆様方の指導性にかかっています。皆様方が神権の役職にあってその責任を果す成長過程が問題なのであります。

皆様方がステーキ部を組織なさる前に、皆様方のお手許には、先程ファイン兄弟が御説明なさったように、教会の全プログラムが手に入る予定でございます。

もし皆様方が教会のプログラムを活用し、人々の力を増すように努力をなさる

ならば、ついには一億の人がこの日本の地で会員として誕生するに違いありません。

少くとも伝道部長はそのようにおっしゃっています。ファイアン兄弟がおっしゃったように私共は皆宣教師でございます。私共が好むと好まざるとを問はず、私たちは宣教師たり得るのです。皆様方がよくご存知の教義と聖約の四章から一寸一言よんで見たいと思います。

「さて見よ。一つの驚嘆すべき業、まさに人の子らの中に現われんとす」驚嘆すべき業はすでにある程度始っているのでございます。

すべての基礎はすでに置かれています。そしてその基礎は強固なものでございます。

皆様方がその基礎でございます。私たちの責任はその基礎の上に建物を建てることでございます。それゆえ主は予言者ジョセフ・スミスを通して、そのような基礎の上に建物を建てるためには、人々はどのような資格を持たなければならないか、風雨火石、暴風雨そのようなものにおかされない強固な強い建物を建てる人々の資格は何んであるか、次の聖句でおっしゃっているのであります。

「この故に、汝ら神の役務に出で立たんとする者は、終りの日に臨みて神の前に咎なくして立たんため、すべからく心をつくし、勢力をつくし、思をつくし、体力をつくして神の役務をなせ。されば汝らもし神に仕えんと望むならば、汝ら神の業に召さるるなり。」

次の聖句を注意深くお聞きになって頂きたいと思います。

「そは、見よ畑は早白くして刈り入れを待つが故なり。また見よ、勢力をつくして鎌を入るる者は、亡びずしてその身も霊も救いを得るために庫に積み入るるなり。」

最後の三節をもう一度精神を統一してお聞き下さい。

「神の栄光をまごころもて仰ぎみて、信仰、希望、慈悲、仁愛の徳を有つ者は神の業に仕うる資格あり。信仰、徳行、知識、節制、忍耐、兄弟の親切、敬虔、慈悲、謙遜、勤勉などの諸徳を忘るることなかれ。求めよ、さらば与えられ、叩けよ、さらば聞かるることを得ん。アーメン。」

ある日のこと、デビット・O・マッケイ大管長が自分の副管長たちと、管理監督会の人々に色々と教えを与えていらっしゃいました。

大管長は私共に、私共の責任は人々を救うことであるとおっしゃいました。そのときに大管長はきっと心の中で、次の聖句を憶い起しておっしゃったと思います。これわが業にしてわが栄光、すなわち人々に不死不滅と永遠の生命とをもたらすなり。

大管長はその心の中で自分の責任は人々を救うことである。個人個人を救うことであるこの日本の地における人たちも同じであると考えていらっしゃいます。個人個人を対象としてこの救いの業はなされる訳です。大衆があって個人があるのではなく、個人個人があって始めてそれが集団になるのであります。父なる神様は、皆さん方をまた私を召してその目的を、またその御業を達成しようとしていらっしゃるのであります。

父なる神様は私たちの欠点も長所も弱いところもよくご存知です。それにもかかわらず父なる神様は私たちに充分なる信用を置いておいでになるのです。私共は天父なる神様の霊感を通して召されているのです。

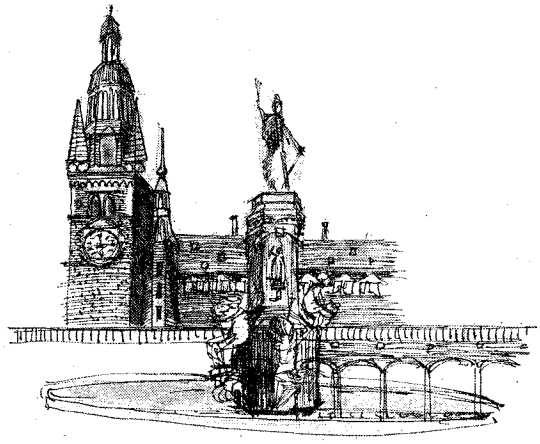
神様はその教会を管理するようにお召しになった方を通して私共を召していらっしゃいます。

日本には現在一億の人々がおいでです。教会の会員は約一万でございます。

このように考えてみますと非常に少いということがいはれます。ですから残りの日本人の人々が福音の言伝てを聞くことができるように、神様は皆様方に、私たちにその責任をお与えになっていらっしゃるのです。

私共がこの世に生存している間に、それがどのようにして遂行されるか私は存じません。とにかくそのようなことは私をわずらはす問題ではございません。何とならば私たちの今やっている仕事は他ならぬ主の御業であると私が知っているからです。

神様は皆様方を通して、また私を通して奇蹟を行ない給うことができると知っているからです。皆様方お考えになって



お判りになるように、聞く耳をもたない人に耳をつけて差上げるそのような方法ではございません。さながら救い主がおっじゃったように、私共が福音の内にあって、さらに強く大きくたくましくなることによって、そのような方法によって神様は私たちをさらに偉大にすることによってその御業をなし遂げることができると思います。

私たちの証しが本当に強いのでその人たちが、そのようなことに影響され、私たちを害することができないようになる方法で主はその御業をなし給うのであります。

しかし、あることが起ってそれを見て私たちは落たんするかも知れません。しかし私たちの証詞が強ければそのような事柄も私たちを失望させることができないのに違いありません。来世のことについて私が、お話しするときに、主の宮居を訪問なさった方は、そのことをよくお判りになるはずでございます。

私たちが天父なる神様の御許に行くその道よりはずれる、いかなることもしないようにすることが、大切であると皆様方よくご存知のはずです。私たちがそのようなことを、防止することができるのは自分自身をおいて他にないのであります。天父なる神様は私たちが神様の約束を守るならばその約束を確かに守り給うと断言していらっしゃいます。

しかし私たちがその約束を守らないならば、父なる神様は何ら私たちに約束されることがないのであります。私たちは神権をもつ兄弟たちでございます。私たちは神の子供でございます。神様は生きていらっしゃいます。神様は私たちを愛していらっしゃいます。私たちのためにその命をお与えになられました。主の御父は、その御子をこの世に給う程にこの世を愛していらっしゃるのであります。

そして神様は皆様方のことをまた私の霊をこの末日の神権時代にこの地に送るようにおとどめになっていらっしゃったのであります。

そして皆様方の霊はこの日本の地に送られて来ました。そして今や主は、日本人の心にふれつつあります。皆様方が真理を聞いたときにそれをはっきりと認識することができるように、主なる神様は皆様方に感動をお与えになったのであります。

私共がすでにもっています真理を探し求めている人たちは、やがて感動されるに違いないのであります。真理を知りたいと望んでいらっしゃる人々は、実に何千何万といらっしゃるのでございます。皆様方は特別な祝福に与える特別な人たちであります。皆様方の霊は、今日まで天界に止め置かれたのであります。

皆様方は現在に生を受けて、福音を聞く機会に浴したのであります。この日本の地にかって住んだいかなる人たちにも、皆様方の責任は大いなるものがあります。皆様方の活動に対して父なる神様はよくその心を傾住しています。皆様方のなされることを見てお喜びになっています。そしてさらに皆様方に期待していらっしゃいます。皆様方一人一人豊かに祝福し給うに違いありません。

過去にあって神様は皆様方の召しを拡大なさったように、これからも皆様方の責任がよく果たせるようにして下さるに違いありません。皆様方が生まれつきもっている力以上に、父なる神様はよく仕事ができるよう祝福を与え給うにちがいありません。皆様方は日本人にとって、シオン山の救い手になるに違いありません。私は神が正しく生き給うと存じています。私の霊肉のすみずみまでこのことを知っています。私は真底からこのことをよく存じています。神様は皆様方を愛していらっしゃることをよく知っています。

私たちが理解できない大きな愛を皆様方にもっていらっしゃいます。私は心の底から神様は皆様方の伴侶であると証します。そして皆様方がよくお祈りされるなら、謙遜であり、正しいことをなされる方であるならば、また同胞を愛される人であるならば、また天父なる神様を愛される方であるならば。今晩ここに皆様方と共に集いましたことを本当に心から感謝してます。私の生活にあってもっとも偉大な祝福は私に授けられている神権です。そして皆様方がお持ちになっていらっしゃると同じ神権をもっていると言うことでございます。

皆様方の上に神様の撰り抜きの祝福がありますように、私は謙遜にイエス・キリストの御名を通してお祈り致します。

アーメン

全教会翻訳部部長

J・トーマス・ファイアン

兄弟姉妹の皆様、私がこの東京に一千万の方々がいらっしゃるということを考えますときに、今日ここにお集いになった皆様以上に、重要な方々はこの地にいらっしゃらないと思います。私が何故そのように申しますかといいますと、その理由は教義と聖約の、六五章に次のようにかかれているからです。六五章の二節には「神の王国の鍵は、この世の人の手に委任され、福音はここより転じ行きて世の果にまでも達せん」福音の鍵は、ここにいらっしゃいます伝道部長に、予言者、聖見者、また啓示を受くる方より、伝道部長に付与されているからでございます。

ですからこの王国の鍵は、伝道部長に与えられ、伝道部長を通して皆様方にも付与されているのであります。

ですからこの王国の鍵は、天父なる神様より、御子イエス・キリスト、さらに予言者、聖見者、啓示を受くる教会の長しかしこちらにいらっしゃる伝道部長、そして皆様方へと委任されている訳でございます。

皆様方はこの東京の地にあって、王国の鍵を所有していらっしゃる訳です。

「神の王国の鍵は、この世の人の手に委任され、福音はここより転じ行きて世の果てにまでも達せん。あたかも人手によらず、山より切り出されたる石の転がり出でて、ついに全世界に充ち満つるが如し。」

そのような関係で、この福音は全世界に充ちみつるのでございます。ですから東京にも横浜にもこの福音は行きわたるはづでございます。もし皆様方が完全なる福音を受けていないとするならば、天父なる神様がやがて皆様がその福音の全ぼうをすべてをまったくうけられるときがくるということを見通していらっしゃるならば、教義と聖約九〇章九節には「また、かくして汝の管理によって彼らは福音の言を受け、彼らの管理によりて福音の言は世界の果まで出で行くためなり。すなわちまず異邦人に行き、然る後見よみよ、ユダヤ人に復り来らん。」

ですからこの福音の言葉は世界の果てまでもすでに出で行っているのです。そして今や東京の地にもおよんでいるのです。

この福音は世界の大かたの地に行きわたっておりますが、九〇章の十節には、「それより主の腕は力をもて現われ、諸々の国民と異教の国々とヨセフの家に、彼らの救いの福音を真に信ぜしむる日来るなり。」

皆様方は、皆様方がお住いになっていらっしゃるこの地で福音が急速に、津々浦々になりひびいていることをご存知のはずでございます。

しかしさらに急速な進展が、成長がこれから見られると思います。過去よりも今からさらに、早く、この主のみ業は進展していくに違いありません。なぜ福音が急速に、津々浦々に拡まりますかというと、少くとも二つの理由があるからです。一つの理由は皆様方がすでにおいであるからです。何となれば皆様方が神の王国の鍵をおもちになっているからです。

皆様方もお手伝いするために、もう一つのものが必要でございます。

そのことが九〇章の十一節に指適されています。「その日、イエス・キリストを啓示するために彼らの上に注がるる「慰め主」の施したもうによりてこの能力を授けられたる者たちの口より、あらゆる人々は己が国語と己が言葉にて完全なる福音を聞かん。」

このような関係で皆様方はやがて、完全な福音を日本語でお知りになることができるのでございます。大管長会はどのような言葉が使われている国々であっても、教会が出すと同時にあらゆる国で同時にこの完全な福音が世の隅々に行きわたるように、管理監督会にその責任を付与されました。ある国ではもはやその人たちが充分に消化しうる範囲内で、福音を自国語で学んでおります。

私たちの教会には、翻訳者のグループがございまして、現在十四カ国語に翻訳の仕事をやっています。

ドイツ語、イタリヤ語、フィルランド語、スウエーデン語、ノルウエ語、デンマーク語、オランダ語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語、タヒチ語、トンガ語、サモア語、タッタ先週のことですが、管理監督会は次の国の言葉に福音を翻訳するアサイメントを与えられました。中華民国語、韓国語、そして日本

語でございます。

そのために私たちはここにやって来たのでございます。過去にこの地にあって起ったこと、行なわれたことについて本当に大いなる感動をもって眺めております。

過去にありまして、伝動部長、ならびにその美しい奥様、と渡辺兄弟の助けによって多くの仕事がなされてきました。

私共がここにやって来ました理由はもっと多くの教義を皆様方にもっと早くお届けするために来たのでございます。

一九六八年九月一日に皆様方が教会が現在行なっていますプログラムをその通り実行できるようにする責任を与えられてやってまいりました。ですからメルケゼデク神権の教義、扶助協会の教科書そのようなものが皆様の手にわたるはずです。それからアロン神権の教義、家族の夕べの教科書、ホームテーチングの関係資料、フェローシップの資料等、扶助協会、MIA初等協会等皆様方がお使いになるプログラムに関係した資料を用に供するためにやって来たのであります。そしてそれはまちがいなく期日に間に合うように、皆様方にお届けします。大管長会の希望は皆様方がソートレークの方でやっているプログラムを同じときに平行してできるということでございました。大管長会が、管理監督会に責任を与えたからその通りやってくれと強硬に言はれないように私たちは望んでおります。何故かといいますと、大管長会から言われたことはとても今のところできそうもないからです。

何故それができないかとその理由を申し上げますと、約一月半くらい前私たちはドイツのフランクフルトにブラウン副監督と行っておりました。その日が教会で相互関係で調整されたプログラムが最初に行なわれた日曜日でした。

ドイツ語をお話しになる会員たちと一緒にお会いしました。そのときにドイツの会員たちが私たちに過去教会がやってくれたことについて色々と話して下さいました。それで一人の方がやってきたので、あなたは教会で何をなさいますかとたずねました。彼は私は私の支部でメルケゼデク神権のクラスで教えています、と答えました。それであなたは今朝どのレッスンを教えましたかとたずねてみました。その朝のその兄弟が教えた教科書の題を教えてくれました。次に他の人がきたので、その人に教会でどのような仕事をやっていますかとたずねると、その人は日曜学校で、私は大人のクラスを教えていますと答えました。日曜学校の大人のクラスで何を教えましたか、とたずねると彼は日曜学校で教えていたものを教えて下さいました。

このときにドイツのフランクフルトで教えられたメルケゼデク神権のクラスでまた日曜学校の大人のクラスでも、ソルトレークで教えられているものと同じものが教えられていたことを知りました。

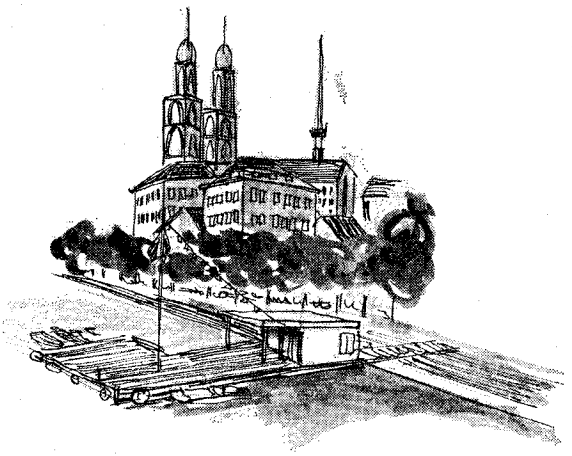
そしてこのときに非常に大切な一つのことを発見しました。ドイツのフランクフルトの会員たちはその同じレッスンをソルトレークの会員たちより七時間早く前に教えられていました。

けれども考えてみますと、この日本では、皆様方ソルトレークで教えになるよりも一日早く教えられる訳です。そのような関係で、大管長会はおそらく管理監督会に、けしからんではないかというのではないかと思います。

大管長会の方々は管理監督会の方々に、英語で話す国々で教えられると同じときに英語で教えられない国々の人も同時に勉強できるようにしてくれと言っているのでございます。それで私共がこの事実を報告したときに、ソルトレークでプログラムが行なわれる前にドイツの方で行なわれていることを報告したそのときに、タ一ナー副管長はブラウン副監督に、今や英語を話す会員たちは英語を話さない人たちに追いつくようにしなければいけないと語されました。

一人のほんやく者のことについてお話ししてみたいと思います。

皆様方のために本当によくその目的を果たすように、ほんやく者の方が、どのようにお働きになっていらっしゃるか、けんきょに示す事例でございますのでこれをお話ししたいと思います。この地にも本当に献身的な翻訳者の方がいらっしゃいます。私たちがこれらの翻訳者の方と親しく接すれば接するほど益々これからお話しするような事柄をその方にも体験していらっしゃることを皆様方も私たちも知るようになります。この翻訳者はスエーデンに住んでいました。この方は



大変不具者でした。この方は手がとても不自由で自分の手で食事することもできないようでした。

この翻訳者はテーブルの下にかがんで、長いスプーンを使って、自分の方に食物を引きよせるようにして食事しました。彼女は一年くらい前に亡くなりました。

しかし彼女は亡くなられる前に、スエーデン語に非常に大切な本を翻訳しました。

彼女は、ジェームス・E・タルメーヂ長老がお書きになった「キリスト・イエス」をスエーデン語に翻訳なさったのです。

それでこのスエーデン語に翻訳された原稿はタイプで打たれていました。彼女は小さな棒を不自由な手で持ち、その棒の先にゴムをつけて、彼女はタイプのキーを一つ一つゆっくりと打ちました。皆様もご存知のように、キリスト・イエスは大変厚い本です。

皆様方は恐らくご想像がつくと思いますが、彼女は、その本を完成するために何千何万回とタイプのキーを、そのような不自由な手で打たねばならなかったのです。

皆様方はきっと彼女の献身的なその精神をくみとられることができると思います。

世界の各地においてこれとよく似たお話しがございます。この日本の地でどのようなことが行なわれるかと思いますと、これからラングエヂ・コーディネーターという人が任命されます。このコーディネーターは約六人の翻訳者を監督します。私共はこれから約一万二千頁にのぼるものを翻訳する予定でございます。

このようにする関係で皆様方は、完全な福音を日本語でお知りになることができるのでございます。韓国でも同じようなラングエヂ・コーディネーターが任命されます。彼は昨日任命されました。彼の下には六人の翻訳者がおります。この翻訳者は韓国語にほん訳するのでございます。

一昨日香港でラングエヂ・コーディネーターが任命されました。彼は中国語に翻訳する六人を監督する訳です。

ブラウン副監督が日本をお去りになる前にこの東京の地でラングエーヂ・コーディネーターが任命されるはずでございます。

私は誰が任命されるかちっとも存じません。誰であるかはすぐにわかります。皆様方と共にこうして集って皆様方のスピリットを感ずることができるのはすばらしいことです。

私共がしようとしています一つの証明を一寸お見せしたいと思います。この三冊の雑誌をご覧になることができます。みんな同じように見えますね、絵は同じですね、裏も同じですね、ほとんど、これはノルウェ語の雑誌です、これはフインランド語、これはオランダ語です。

これが私共のやっています仕事でございます。このように各国同じようなことが皆様の手に行き渡るようにすることです。

系図協会よりの指示、扶助協会から出されたもの等が含まれています。教会の翻訳部の方々は毎月一回教会の各組織の長の方とお会いします。その席上でこの月刊誌にどういうものが掲載されるか討議されます。

ときが過つにつれその内に皆様のお手許にこれと同じ雑誌が届くようにしたいと思っています。

私は皆様方のスピリットならびに皆様方の心に望んでいらっしゃることをよく感じとることができるように思われてなりません。皆様方はすでに、もっていらっしゃいます鍵をお使いになって、まだこの福音を知らない他の日本人の方々の心に大きな感動をお与えになろうと考えていらっしゃると思います。皆様方きっと心の中で、自分と同じような人を、教会にお連れしたいと願っていらっしゃいます。

ここに出席した一人一人が、予言者聖見者啓示を受くる方が、すべての会員は宣教師であるとおっしゃったその召しの精神をつかみとることができたらと私は思います。宣教師がご存知である六課を私たちはみんな知っているとは限りません。宣教師であるために私たちは必ずしもその六課レッスンを知る必要はありません。私たちのなすべきことは、友だちを見つけて宣教師の言うことに耳をかして下さるようしむけることであります。

私たちの与えられた鍵をそのようにして使うことができるのであります。

ですから皆様方がおもちの鍵の一つは、宣教師の仕事をする鍵であります。もう一つの鍵は聖徒たちを完全にならしむる鍵であります。ゆえにこの地の聖徒たちが自分の母国語で書かれた完全な福音を知ることによって、さらに完成への道を歩むことができるようにすることでございます。

私は厳粛に皆様方に証したいと思います。神は生き給う、この教会はまぎれもなく神の教会です。デビド・O・マッケイ大管長は、予言者、聖見者、啓示を受けるものであることを証しいたします。日本人のために鍵を、大管長は皆様方の伝道部長にお渡しになっていらっしゃいます。そして伝道部長は皆様方地方部の役員、支部の役員に必要な鍵をお与えになっていらっしゃいます。日本人の皆様に完全な福音が行きわたる準備が今や着々と進んでいます。父なる神様が私たちを祝福し給うて、この新しい機会をしっかりとつかまえることができるように祈ってやみません。

私共がもっています鍵をよく使うことができるよう謙遜にお祈りし、イエス・キリストの御名を通してお祈り致します。アーメン

B・Y・Uはヒッピー族お断り

ユタ州プロボにあるブリガム・ヤング大学では、今秋からビートニックスやヒッピー族を入学させないことになりました。そして、だらしのない汚れた服装も禁止します。

「わが校は、今後とも学業の上でも校風の上でも大学としての体面を保つでありましょう」と。エルネスト・L・ウィルソン総長は、今年度入学予定の学生の両親に語りましたが、内容は次のようなものです。

このような態度は、多くの総合大学や単科大学で、学生生活の道徳的指導をやめてしまった現在、非常に奇妙に感じられています。あるとき、大学行政会議が開かれて多数の大学関係者が出席したとき、わが校の代表者が、「学内でもし学生が酒を飲んだり乱暴したりしたらすぐに停学させられる」と話すと、ある出席者は「あなたは荒れすさぶ海上の平和な小島に住んでおられるにちがいない」と答えたそうです。

学生たちが学校当局に反抗したり、ストライキやボイコット、授業放棄などの革命的運動を組織化したり、また、今や学生の健康上の重大問題となっている麻薬、タバコ、酒類の飲用者が増加している状態を聞くとき、私たちは本当に驚ろいてしまいます。そしてまた、「自殺は大学生が死亡する原因のなかで二番目に多い」という驚くべき報告もあります。

学生自治会（この会の憲章はブリガムヤング大学では拒絶された）の組織下にある一人の学生は、最近発行された雑誌に「現行規則の破棄」「グレイドシステムの廃止」「採点用のIBM設備の学生による管理」「学生の人権を無視したとみられる監督を独自の法廷形式でつるしあげること」などの無茶な提案をしています。

私が出席した大学総長会議の席上で、ある代表発言者は「人格形成はもはや高等教育だけでは役目をはたせない」といいました。そして、もう一人の総長は次のように発言しました。「私は学生が探求しているかぎり、また、何か学んでいる限り、彼らの服装がどうであろうと、また、入浴をしてなかろうと、頭の毛を長くのばしていてもたいして気にしません」

多くの大学はこれと同じような考えのようで、学生たちが校内で学校の名誉を傷つけるような酔っぱらい方をしないかぎり、学生たちの行動や道徳的基準を監督すべきでないといっていました。

このようにどこでも、手に負えない状態なので、ブリガム・ヤング大学ではこれと同じような道徳を破壊するものを防止するように、一層厳重になるでしょう。この大学は神の予言者によって建てられたものですから、キリスト教徒の道徳の最高水準に合せて運営されます。ブリガム・ヤング大学の実際的な行政は、よく検討された上で末日聖徒イエス・キリスト教会の幹部によって行なわれる教会の方針に従います。そして、これを支持します。暴動を煽動したり、暴動に参加する学生や、大学の方針に公然と反抗する学生は大学のなかに留ることができません。

学生活動について多くの標準が再検討されました。

つつましさについて総長はこのようにいっています。

つつましさとは、ブリガム・ヤング大学の正しい服装や正しい行ないを防げないものです。はでな服装はいやな印象を与えるだけです。

ミニスカートは許されません。私たちは、あなたがたの娘さんの洋服ダンスはミニスカートがかけられていないように、ご両親が見守ってくださるようにすすめます。服装は、ことさらその人の肉体美を表現するものではなく、身に着けて心地よくそして魅力的なものであるべきであります。

ミニスカート

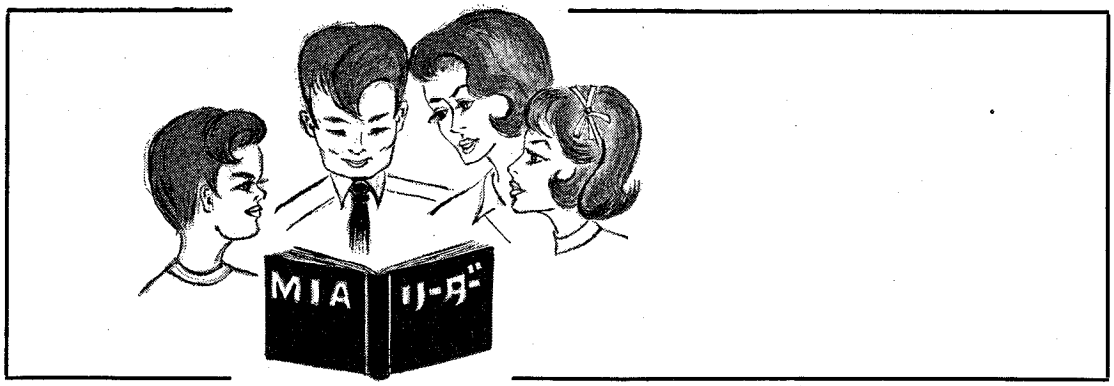
チャーチ・ニューズの記事から

ミニスカートは英国で生れました。はじめは、ヨーロッパとアメリカのファッション界の専門家のあいだで軽蔑されていました。

とくに、フランスのデザイナーは、新しい一時的な流行で、婦人服の常識を破るものとして非難していました。そしてそれは、悪いデザインの見本とさえされていました。そしてそれがデザイナーたちは大体に於て醜くい膝や、ふとった膝、特に骨ぼったい膝などを強調せざるを得なくなってしまいます。

デザイナーたちは、膝がスッキリと見えるような短いスカートは、誰にも似合うものでなくて、むしろ下品でよくないものだと説明していました。そして、ミニスカートを着ているときに最高の美さ

（5頁に続く）



ガールズ・プログラム 受賞計画の準備は、うまくいっていますか

昨年、はじめてこの受賞計画が発表され、沢山の若い女子会員が、これにチャレンジしました。一年間の目標は果たされたでしょうか。資格を充分に満たした人もあるでしょう。残念ながら、受賞の栄を受けるに必要なものが不足した人もあるでしょう。あるいは、途中からこのプログラムに参加したために、出席者の足りなかった方は今年こそは、と決意を新たに九月からのMIAに参加していることでしょう。この一年ふりかえってみると、不馴もあって、役員の方々が苦労されたこととを思います。とりわけG・P書記は提出しなければならない書類が新しいため、その上に沢山あるため、毎月忙がしい思いをされたことでしょう。その点、今年は二年目ですので、前年の色々な経験を生しかて、事務的なことはスムーズに行くようになったのではないでしょうか。伝道部MIA事務局でも貴女の支部と同じように種々の事務上の苦労がありましたた。例えば、四ヵ月も、五ヵ月もたってから過去四ヵ月、五ヵ月分の登録とレポートをまとめて提出されたり、月間レポートの方のパーセントの出しかたにミスが多く、一つ一つの支部のパーセントを各項毎にチェックしなかったり、月間報告書の累計に誤りが多かったりでした。しかし、今、本伝道部から申請書をMIA中央管理局に提出して受賞の承認を得、その誉ある彰状を受けるであろう人たちの名前を見るとき、本当に素晴しいこのプログラムが、本伝道部で発足したことを喜こびとしています。欲を言えば、私が十代の少女の頃に何故このプログラムがなかったのかとうらめしくさえなります。

さて、あれや、これやと考えながら、二年目の今年、ガールズ・プログラムについて、準備はどうか、説明は充分されただろうか、そして受賞計画は理解されているだろうか、もう一度一つ一つ私といっしょにチェックしなおしてみて下さい。

1　12才～19才までの少女の登録をしましたか。支部メンバーシップ・レコードよりリストアップする。（特別に申し出て許可された人はグリーナーの年令でも登録できますが、ゴールデングリーナー賞をチャレンジしている場合はできない。二つの賞を同時にとることができない理由）

2　記録カードおよび資格カードを作製しましたか。資格カードは各個人に手渡しましたか。

3　G・P累計記録簿に登録と同じ順で名前を記入しましたか。

4　調査資料まとめをMIA事務局に送りましたか。（調査は面接にて行ない、九月中に提出）

5　不活発な少女たちの家庭訪問をしましたか。

6　ガールズ・プログラムの説明書を少女たちに手渡して、家庭との連絡を、とりましたか。

7　本年九月にすでに20才に達し、もうガールズ・プログラムに参加する意志のない人の個人記録カードはその人に「真理の書の宝」として返却されます。そのカードは本人が保存することになります。

8　本年度のガールズ・プログラムの色々な点を検討するために、支部長との評議会は月一回持たれているでしょうか。

9　月間報告書は間違いなく、翌月の七日までに提出されていますか。途中から登録する人のある場合は資料用紙にて登録をし、今まで、登録してある人たちの一番最後に記入される。それ以後の月間報告書も、その順序をくずしてはならない。

10　月間レポートの記入法は、15才以下の少女たちでも全部ローレルのクラスに記入して下さい。本伝道部には、マイア・メイドとビーハイブのクラスはありませんので、13才や15才の少女たちも同じようにローレルとして教えてそのクラスの項に記入して下さい。

特にパーセントの出し方に注意して下さい。例えば（3）聖餐式の平均

出席人数とあり、下に（項目2の各人数で割る）と書いてあります。これは、注意書きです。パーセントを出すのですから、当然百分率です。項目2割る項目1×100となります。また今までは、ビー・ハイブや、マイア・メイドをクラスがなくとも年令別に記入してましたので、特にパーセントに間違いが多かったのですが、本年から全部ローレルとして記入して頂きますので、問違が少くなると思います。

11　MIAのレポートはすべて翌月の7日締切です。遅れないように、提出しましたか。特に月間報告書は何カ月遅れても提出しなければなりません。累計に相違が出ると申請書を提出されたときに出席回数で資格がとれないことにも、なりかねませんから。

さあ、これで貴方の支部のガールズ・プログラム受賞計画はうまくゆくはずです。まだまだやらなければならないことは沢山あるでしょう。今年こそ、支部の若い女子の一人一人がこのプログラムに喜こんで参加するように、万全の準備をして下さい。

伝道部YWMIA会長
佐藤栄子　記

MIAスポーツ活動

MIAに於けるスポーツ活動はMIA自体の発展と同時に私たちを進歩させる要素をも持っています。

MIAは私たち一人一人にキリストの教えを精神的に、身体的に、社会的に、霊的に提示します。その活動は私たちを広く、大きく、安全な神様の翼の下へと導くのです。MIAは私たちに信仰を確かめさせ、証を新たに認識させることのできるもっとも身近な機関です。

スポーツプログラムの根本の目的、方針は以下の4項目に表わすことができます。

1　教会の標準を離れないで生きることとうるわしく、健康な身体を楽しむこととの間の相関関係をたずさわる人々に知らせることを助ける。

2　チームプレーの価値を認め、親しい知り合いを増やし、自己訓練を拡大し、より望ましい人格をつくる。

3　役に立つ若い人々をMIAの活動に参加させる。

4　彼等の知識を増加させイエス・キリストの福音の神聖さに対する証しを強くさせる。

これらのプログラムには教会の標準を守り、規則を守り、ルールに従う若いすべての人々が参加します。

前回に約10の種目を挙げましたがその一つ一つについて行ない方、運営等について述べたいと思います。

バレーボールについて初めに考えてみましょう。バレーボールは室内、室外を問わずまた季節を問わず行なうことの出来る一番大衆的なものです。男子も女子も皆んなで共に楽しみ競えます。ルールもあまり難解ではありません。一応6人制を行なうことをたてまえとします。ルールは日本バレーボール協会の定めるまた国際的に通用するものを用います。

バレーボールは一応皆んなが知っていますし、狭い場所で行なうことが可能ですからどの支部に於てとり上げられても問題はあまりないと思います。

職場にあっても、農村にあっても老若男女を問わず日本中で一番広く行なわれているスポーツはバレーボールであります。

第二にはバスケットボールです。この競技はある程度の専門的な知識と能力を必要とします。

どちらかというと寒い時期のスポーツです。一応室内で行なうことを考えるのがよいでしょう。私たちは今までにずいぶんバスケットボールの試合、大会を開きましたが他のスポーツに比べてこのバスケットボール程、見劣りするものはありません。体力を必要とし、専門の技術がある程度までないといくら一生懸命やっても試合自体あまりおもしろくありません。これらの理由からバスケットの大会には、充分な準備と配慮がなされなくてはなりません。支部にあってはバスケットボールの必要人数を最底でも6人くらいを集めて独自に専門的な技術を高めていくやり方がよいでしょう。スポーツの多くは点を競いますが、バスケットボール程そのおもしろさを表わせるスポーツは他にありません。これには教会内で定期的なリーグ戦がありますから技術が高まればそこまで進める可能性があります。現在は活発ではありませんが、力強くゆっくり基礎固めを進めていって大きな夢にまで到達しましょう。

第三には卓球です。私たちの教会で一番高度で盛んなのは卓球でしょう。支部に一台は卓球台があるのが理想です。そして一部の高い技術をもった人から指導してもらったらよいでしょう。これについてはあまり触れる必要はないでしょう。

次はバドミントンを考えましょう。これはレクリエーション程度にしか行なわれていませんが、卓球と同様に身近かにあって発展性があります。典型的な室内スポーツです。教会内では無理ですから練習には外で行なえばよいでしょう。道具も簡単ですから手軽に出来るでしょう。これはどちらかというと遊びになりがちですから練習のときはそれに注意しなくてはいけません。ルールもあまり知られていませんから一度ルールを知るための会等も開いたらよいでしょう。

5番目にはスケートを考えてみましょう。冬のスポーツで最も人気のあるスポーツです。教会では大阪より北の支部で行なわれているようですが、なんといっても盛んなのは北海道でしょう。スケートを行なえる地域はかたよりますが、冬に於ける代表的なものとして歓迎できます。全国的に行なうのは因難ですから北海道、東中央地方部で考えるべき問題でしょう。

第6番目は軟式野球です。野球は広く行なわれていますが、これは一応男子のスポーツです。場所と人数と時間が必要で規模も大きくなります。一部の人に片寄りがちですが今までに述べたスポーツが盛んになればこのスポーツも可能になります。ぜひともこのくらいのスポーツまでは出来るようになりたいものです。一番スポーツらしく、走り回れ、自然の条件に接することの出来るスポーツでしよう。ただ現状から判断して先の問題として考えるスポーツと言わざるを得ないでしよう。しかし個人的にはどんどんやってもらいたいスポーツです。

最後にソフトボールをあげます。これは前者よりは片寄らなく、前者よりも前に考えることが出来ます。条件は前者と同様ですから述べません。先づこの程度のものを目標にしたいと思います。以上簡単に述べましたがこれは皆支部のスポーツ係が中心となって行なわなければなりません。これらを季節等に合わせて年間のプログラムを考えて下さい。目標を定め、しっかりと強く前進して下さい。

伝道部スポーツ・アドバイサー
神田　治　記

MIA書記だより

あなたの支部は、MIA集会を開いていませんか

いいえ、きっと素晴らしいMIA集会を毎週立派に開いていらっしゃると思います。しかし、どのようによいプログラムが組まれても、毎月毎月月間レポートを提出しなければ、記録上はないことになります。では、どうかあなたの支部のMIA活動状況を、毎月七日の期日に間に合うように、MIA事務局宛お送り下さい。（伝道本部ではありませんから注意のこと）

☆月間レポート記入上の注意

1　数字は、はっきり記入して下さい。0だか、6だか区別出来ないことのないように注意して下さい。

2　平均出席人数欄は、小数点以下第一位まで記入して下さい。それには小数点以下第二位まで出して四捨五入するように。

3　プログラム通り行なわれた回数。これは、カレンダー通りに開かれたMIAで、Mメン、グリーナー、ローレル、エンサイン各四回づつ行なわれたのであれば、合計欄にそれぞれをプラスした数の16回と記入して下さい。

4　活動欄は完全に記入して下さい。例えば、音楽会が3回開かれ、参加人数は無記入であったりする例が大変多いです。これは不注意と思いますので最後の会長がサインをする前にもう一度、見直して下さい。

5　ダンスは、支部によってフォークダンス、ソーシャルダンスと二つ行なっていると思いますが、それぞれ区別せず両方の合計回数、合計人数を記入して下さい。その際、必ずYM、YWに分けて記入することを忘れずに。

6　また活動欄に記入することが何もない場合は、裏面でも、別紙でもよいですから、毎週行なわれている活動クラスの状況を記入して下されば大変よいと思います。

7　その他

○空欄になるところは、ゼロか斜線を引くかして下さい。そうすれば、果して書き落したのか、なかったのかの区別がはっきりできるからです。

○また、非常に各支部とも計算誤りが多いですから、再々度見直して下さい。

それでは、今月は、全支部に於てMIAが開かれますように希望を持って、お待ちしています。

伝道部MIA書記
稲垣聖子　記

扶助協会レッスン

霊的生活

ロイ・W・ダクシー長老

教義と聖約

七七課 福音の回復のために道を備える神の文書

テキスト 教義と聖約九八・一—二二、一〇一・七六—八〇

目的 末日聖徒の婦人はアメリカ合衆国の憲法制定に於ける主の目的を認めること

序文

教義と聖約九八章はこの国の根本的な法律に関する報道とアメリカ合衆国に住む人々の権利と特権を保証すべき目的を含んでいる。これがミズーリ州の聖徒の苦難と迫害のさ中に与えられたと言うことはこの章が霊感されていることを証するものである。

憲法に対する準備

末日聖徒はアメリカの地に関する主のみ言葉に例証されているように主がその子供たちに対して持ち給う愛情深い関心を深く認識すべきである。ここで制定された権利は「あらゆる人々の権利と保護とを守るために維持」されるべきである。（教義と聖約一〇一・七七）

クラス討論

主はどのようにして福音回復の道を備え給うたか？

聖典の中で主は末日に主の福音が回復されることが出来るよう、西大陸の人々がイエス・キリストに仕える限り、北アメリカ、南アメリカとその他に住む人々に対してもち給うけ念を詳説し給うている。

1 この地はローマ帝国が滅亡し、諸々の国々が独立国として自ら立つまでは他国の民から知られずにおかれる。（第二ニーファイ一・六、八参照）

2 神はコロンブスに「大海を渡って約束の地にいる私の兄弟たちの子孫のところへ」行くよう霊感を与えられた。（第一ニーファイ一三・一二）

3 世界に宗教上の迫害があった間に人々はアメリカに逃れた。（第一ニーファイ一三・一三—一六）

4 米国独立戦争の起こる二三〇〇年前の一つの著しい予言の中で、神はその独立戦争を予言し給い、「束縛の身から免れてきた異邦人たちが神の御力によってほかのすべての国民の手から救い出される」ということを示された。（第一ニーファイ一三・一九）

5 主は「この地は異邦人にとりて自由の地となり、その異邦人を治むる王はその地になかるべし」と宣言し給うた。（第二ニーファイ一〇・一一）

6 「われ実にこの目的のためにわが挙げたる賢き人々の手によりてこの国の憲法を制定せしめ、流血によりてこの国を贖えり」（教義と聖約一〇一・八〇）

7 神は「何人も相互に束縛するは正しきにあらず」と宣言し給うた。

8 「主なるわれは、汝とわが教会に属する汝の兄弟たちがこの国の立憲的法律なるその法律の力となることを正しと認むるなり」（教義と聖約九八・六）

9 神は「ごらん、この土地はすぐれた土地であるからこの土地を所有する民はこの地の神に事えさえすれば、奴隷とならず自由を奪われず天下のどのような国からもすべて支配を受けることがない。この地の神とはイエス・キリストである」と宣言し給うた。（イテル二・一二）

モルモン経は末日にアメリカ大陸に建てられるはずのシオンの都について述べている。（イテル一三・四—六）一八三一年にはこのシオンが結局はミズーリ州のジャクソン郡に建てられるだろうと啓示された。（教義と聖約五七・一—三）

アメリカの発展について勉強するならば、福音の回復が可能であることが出来るよう、また末の世に於いて主のみ業が成就されることが出来るように主の御手がずっとこの地の上にあったと言う真理が立証される。

私たちはアメリカ合衆国で制定された政治の型が由来した歴史的な根源を知るために、アメリカ初期の植民の背景に目を向けねばならない。植民者の大部分は英国から来たゆえ、必然的に彼らは英国の思想を持ってお

り、その上に政治を確立した。事実アメリカ独立戦争に於けるアメリカ人は、英国人であったときに彼らに属していた者の権利を取り戻すために闘っていたと言われてきた。

英国史の初期の方で国民のためのある自由の要素が不文の慣習に於いて、また文書にされて具体化されている。マグナカルタはその一例であった。（一二一五）この文書は国民は全体として王が侵すことの出来ない権利を持っていると言うことを人々に理解させたものであった。

植民者もまた英国から代議政体である、陪審員が審理をする権利のような政治上の自由の思想や、「家庭、人、財産」に対する不正な政治からの保護を受けた。ヨーロッパからは他にドイツ人やフランス人、オランダ人、スカンジナビヤ人やその他の国の人々が同じようにやってきた。アメリカ独立戦争に先だち、アメリカ植民地で生じた議論から言論の自由、出版の自由議会の権利の自由のような、当時のアメリカにとって類のない偉大な思想が生れた。アメリカ人はヨーロッパから遺産を受けついでいるけれども、神の霊感の下に新しい力がアメリカで起ったと云うことを私たちは忘れてはならない。この新しい力は時満ちた時代に於いて、イエス・キリストの福音が確立されるのに必要な保護を得るためアメリカ合衆国の政府の下で備えられた。

国家の始まり

一三州の植民地が英国の支配の下にこの国の東海岸に沿って繁栄した。一七六三年まで英国はこれらの植民地を保護するために、フランス人やインディアンと戦い勝利を得た。そしてその出費の一部を払うために植民者の上に重い税金を課した。そこで「植民地から議員を立てて不当な課税に反対せよ」の叫びが一斉に上った。一七七四年に開かれた大会では植民地の委員が集り、英国王ジョージ三世に提出するために「権利と苦情の宣言書」を作成した。不幸にもこの争いは調停によって解決することは出来なかった。植民者は彼らの抗議を聞いてもらうために、満足な解決策が得られるまでは、英国からは一切物資を輸入しないと決議した。満足な解決策を見出だすことの出来なかった英国政府はこの法律を強要するため、一万の軍隊をアメリカに送った。一七七五年七月大陸議会は大陸の陸軍総指令官にジョージ・ワシントン将軍を任命した。独立戦争は英国と開拓者との間に絶え間なき争を伴った事件であった。一七七六年七月四日、遂にフィラデルフィアで独立宣言が採用された。

クラス討論

この国民にとって独立することがどうして必要だったか？ジェー・ルーベン・クラーク副管長は次のようにこれに答えている。

……教会が回復されて以来、教会の指導的立場にある人々は、全世界の国家、政府、国民の間で模範となり導きを与えるために偉大な根本的な真理に従うことに専念すべきであった。「全人類は等しく創られ、またある犯すことの出来ない権利を創造主から賦与されており、これらの中に生命、自由、幸福の追求が存在する。これらの権利を守るために国民の間に政府が設立され、治められる者の同意によって彼らの公平な力が引き出されるべきであった。」

……私はこの政府の設立にあたり、神がこの土地を「他のすべての地にまして選ばれた地」として聖書に述べられているように彼の約束と宣言された目的に従ってことを進め給うたと言うことが出来る。これは私たちの全歴史を通じて流れている偉大な主旨である。（デゼレトニュース　教会の部　一九三九年三月四日一頁英文）

一七七七年に植民地は英国との戦いに勝つために、また永久の連邦を樹立するために植民地の同盟箇条を成作した。一七八一年から一七八九年まで続いたこの政体は、州がその中でその主権と自由と独立を保持したものであった。しかしながら、この各州の同盟は同盟した州が一つの国民として働き得る中心的勢力に欠けていた。

この同盟箇条が不適当であったために、それを修正するための大会が召集された。一七八七年ジョージ・ワシントンの指導の下にこの箇条は破棄されて、アメリカ合衆国憲法として知られている新しい文書の草案が作成された。ワシントンは言った。「賢き誠実な人が直すことの出来る旗をかかげよう。その成否は神の御手の中にある」と。

しかし憲法制定の大会の期間中と討論と議論の四、五週間の後も、進展はあまり見られずベンジャミン・フランクリンは議長であるジョージ・ワシントンに話しかけ次のように尋ねた。

今まで私たちの理解力を照らす御父の光にけんそんに心を傾けると言う考えを一度も持たないで、あたかも暗黒の中に集っているかのように、よく分らずに政治の真理を求め、それが私たちに示されるときに、少しだけ見分けることが出来ると言うような大会の状態ではどうなるだろうか？

それから彼は大会に集っている人々に対し、大英帝国と争いがあったときにはその間中、人々は神の助けを求めてきたこと、また彼らの祈りが聞かれたことを思い出させて言った。「私は長年生きてきた。そしてこの世に生をうけて生活すればする程、神が人の問題を管理し給うていると言う確証を得るようになった」と。

クラス討論

アメカ合衆国憲法が現代の世界に生きる末日聖徒の婦人としてのあなたにとってどんな意味があるか？

憲法を成文化した人々はこの目的のために予任されていた。

われ実にこの目的のためにわが挙げたる賢き人々の手によりてこの国の憲法を制定せしめ、流血によりてこの国を贖えり。（教義と聖約一〇一・八〇）

これらの賢き人々はこの世に於いて神の神権者の手で完全な福音を受ける機会を持つことは出来なかったが、死者を救う原則を通じてそれが可能であったと主は啓示し給うた。ウイルフォード・ウッドラフ大管長は独立宣言に署名した人々について――その中の数名はこの憲法制定の大会に参加していた――次のように言った。

私の生涯にもうこのことを言う機会がないかも知れない。それゆえ、私はアメリカ政治の基礎をおき、独立宣言に署名した人々は天の神が地上で見出すことの出来る最高の霊たちであったこと、また彼らは選ばれた霊たちであり悪人ではなかったこと、ワシントン将軍とこの目的のために働いた人たちは、すべて主から霊感を与えられていたと言うことを強くこの会に立証するつもりである。

ここで私は今一つのことを言う権利を持っているからそれを述べる。ワシントン将軍と共に独立宣言に署名した人たちは、皆セント・ジョージの神殿に私をイエス・キリストの使徒として二晩続けて訪ねてきた。そして私に神の家に行き、そこで彼らのために儀式をなすべきであると言い、それを行なうために要する私の手を求めた。私はジェー・ディー・ティー・マックアリスター兄弟、デビッド・エィチ・キャノン兄弟、ジェームス・ジー・ブラック兄弟はこのことを知っていると思う。マックアリスター兄弟はこれらの人々のために私に代理のバプテスマを施し、また私はこれらの兄弟に神殿に行ってその人たちのためにエンダウメントを受けるまで働くことが、彼らの義務であると告げた。彼らはそれをなした。もしその人たちが気高い霊たちでなかったとしたら、このことを達成するために、イスラエルの長老としての私を訪れただろうか？　決して訪れなかっただろう。

私はこれが真実であるからこのことを証言する。私と兄弟たちがこのようにして働いている間、神の霊は私たちを証明した。（大会報味一八九八年四月八九―九〇頁英文）

主は賢き人々の手により憲法を制定されたことを宣言し給うたゆえに、教会の大管長会の副会長ジェー・ルーベンクラークはそれを彼の宗教の一部としてうけ入れた。彼はこの憲法の特質がアメリカ合衆国国民に与えられた自由と権利にあったのみでなく、政府機能の融和を立法行政、司法の三権に分立したことにあったと感じた。

権利宣言の起源

個人の権利をより保証するために権利宣言として知られている次の十カ条の修正案は、新しい憲法の下に開かれた最初の国会の認可と共に一七九一年に実施された。

権利宣言条項

第一条

国会は宗教の設立に関する法律、信仰の自由を禁ずる法律、また言論の自由、出版の自由、また平和に集う権利、苦情の原因の除去を政府に請願する権利を剝奪する法律を作ってはならない。

第二条

秩序ある国民軍は自由な州の安全を守るために必要であり、国民が陸軍を持つ権利は犯されてはならない。

第三条

平時にあってはいかなる兵士もその家の主人の同意なしに民家に宿泊してはならない。また戦時にあっては法律で規定された以外の方法で民宿してはならない。

第四条

不法な捜索や差押えに対して人、家、新聞、財産を守るための権利は犯されてはならないしまたいかなる許可書も発令されてはならない。ただし犯された悪事が証人によって確かな証言がなされた場合、特に捜索されるべき場所が明らかな場合、当局者は差押えの許可を与えることが出来る。

第五条

いかなる人も州の法律を犯しあるいは不名誉な罪を犯しても陪審員の告発がなければ送検され刑務所に送られるのも保留されねばならない。ただし、戦時あるいは州や国家の危急の際（非常の時に）陸海軍人は国民軍の中で実際の軍務中に起った場合を除く。またいかなる人も同一の罪のためにむし返し裁判を受け、その身が危険にさらされることがあってはならない。またいかなる犯罪事件に於いても自己の知る事実に反する証言を強要されてはならない。また法律の当然の過程を経ずに生命、自由、財産を奪われてはならない。また正しい代償なしに個人の財産が公用されてはならない。

第六条

あらゆる犯罪の告訴に於いて被告は被告が罪を犯した地区と州の公正な陪審員により敏速かつ公式の裁判をうける権利を有している。また告訴の性質と理由を知らされる権利があり、また彼に反対する証人と対決するための権利、彼に有利な証人を得るため強制的方法をとるための評議会の援助を得る権利を有している。

第七条

論争により定められた損害見

積額が二〇弗を越える場合、普通法に従って陪審員による裁判の権利は保持されねばならない。一人の陪審員により裁判されたいかなる事実も普通法の規定によるよりもアメリカ合衆国の法延に於いて他の方法で再検査されねばならない。

第八条

過度の保釈金を得てはならないしまた過度の罰金を課してもならない。また残酷な罰、異常な罰を加えてはならない。

第九条

ある権利を憲法の中で例挙することが人々に支持されている人を拒否したり軽視できることと解釈してはならない。

第十条

憲法によりアメリカ合衆国に委託されない権力、また憲法により合衆国に対し禁じられていない権力は各州に対し、また国民に対しそれぞれ保留される。

これらの修正案に関してクラーク副管長は次のように勧告し、この憲法についての彼の証を述べておられる。

さて、あなた方がこれらの偉大な政治的祝福の他に許されて、もつことの出来るものが他にもある。しかしそれらのものは空気や日光や雨のように失うことの出来ないものではない。あなたはそれらのものを失うことが出来る。権利宣言を読んで研究しなさい。そうすればあなたはこれらの権利の中のどれをとって見ても欠き失うことの出来ないものであることを断定するだろう……。

私は繰り返し言う。アメリカ合衆国憲法は私にとって宗教の一部であると。そうなったのは私が前にあなた方に示した主のみ言葉のゆえである。私の知っている限り世界の他のどんな政治に対してもこのような認可が与えられたことは決してなかった。もしあなたが何時でも自由であろうとするならば、また意のままに礼拝しようとするならば、また自由な国民であろうとするならば一八三三年のアメリカ合衆国憲法は私の知る限りではあなた方が享受せねばならないこれらの偉大な権利を保留し、保証している政治の主の御計画があった。（一九五七年五月二一日ブリガムヤング大学での演説「政治的祝福」より）

啓示と権利

一八三三年に主は彼がアメリカ合衆国憲法を制定したと啓示を与え給うたがそれは憲法制定から五十年たってからのことであった。奴隷制度の廃止、および市民の保証と保護の二つの修正案は三十年後まで規定されなかった。一〇一章で主はこのように述べてい給う。

わが彼らに制定を許したる、また正しくかつ神聖なる原則によりてあらゆる人々の権利と保護とを守るために維持すべき人民の律法と憲法とに従いて汝らの上に権威を持つ者に切に願い。

かくして、人ことごとくわれより与えられたる良心に従い、末来に関する教育と原理に通う行をなし、かくて審判の日に当りて自己の罪を負うべきなり。

ゆえに何人も相互に束縛するは正しきにあらず。

われ実にこの目的のためにわが挙げたる賢き人々の手によりてこの国の憲法を制定せしめ、流血によりてこの国を贖えり。（七七―八〇節）

クラス討論

主のみ言葉によればこの憲法はどんな目的で制定されたか？

結論

このレッスンを結ぶにあたり私たちは救主がその復活にひきつづき、言い給うたみ言葉のゆえに、アメリカ国民が末の日に自由な国民としておこされたのは神のみ業であったと言うことが出来る。

御父がその民なるイスラエルの家に立てたまいし誓約が行なわるるために、また異邦人を経て以上のことが汝らの子孫に伝わるために、異邦人がこの地におかれて御父の能力によりて自由の国民となることは御父のみ心である。（第三ニーファイ二一・四）

イエス・キリストの福音がアメリカ大陸で回復されることは可能なことであった。何故ならそこには自由の国民が住んでいるからである。このアメリカの地から自由意志と自由の回復された福音の原則があらゆる国民、種族、言語、人々を祝福するためにひろがるべきであった。

アメリカ合衆国のこの政治を見て、私たちはニーファイ人に対して救主が述べられたみ言葉が、一部成就したことを知ることが出来る。福音はアメリカ合衆国の政府の保護の下に、多くの国民の協力を得て他の国民に伝えられるようになった。教会の永続の予言に一致してアメリカまたその目的を成就し続けるだろう。この国民に対するいくらかの怒りや、時々彼らが政治的眼識に欠けていたにもかかわらず、主はシオンとして祝福されたこの偉大な地を祝福し続け給うた。

予言者ジョセフ・スミスはこの憲法は彼の宗教の一部であると信じていた。何故なら彼はこう言った。

アメリカ合衆国憲法は栄光に輝く基準である。それは神の英智に基づいている。それは天の旗である。それは乾きを覚え、疲れきった土地でみつけた涼しい蔭が、大きな岩間から流れるさわやかな水のように、自由の特権を与えられているすべての人に対するものである。それはあたかもその枝々の下にあらゆる地方から来た人々が、太陽の強烈な光から保護されることの出来る大樹に似ている。

私たちは神は真理であると言いまたアメリカ合衆国憲法は真理であると言う。（教義と聖約）聖書は真理であり、モルモン経は真理であり、契約の書は真理であると言う……（PHCⅢ・三〇四）

霊的生活

ロイ・W・ダクシイ長老

教義と聖約

七八課 主の弟子であること

テキスト　教義と聖約一〇〇章

目的　末日聖徒の婦人は義しい人々のために万事が好転すると言うことを知って慰められる。このことは主の弟子として彼女を強くする。

シオンは贖わるべし

ジョセフ・スミスは昔の予言者により啓示されたシオンの偉大さを知っていたため、また彼自身が受けた啓示のためにシオンの設立を深く心にかけた。（イテル一三・二―一二、教義と聖約五八・二―一四）主は次の励ましのメッセージを与え給うた。

而して、今われシオンに関し一言汝らに告ぐ、シオンは少しの間懲しめを受くるとも贖わるべし。（教義と聖約一〇〇・一三）

主のときがきたればシオンの中心地、すなわち新エルサレムはアメリカの地に依然として立っているだろう。

主は主の忠実な僕たちを心に留め給う

迫害がジャクソン郡で起ったとき、兄弟たちはそれを大管長会に報告するためオリバー・カウドリを送った。その後間もなく後に十二使徒となった、オルセン・ハイドとジョン・ゴウルドは大管長会よりのさしずを持って、ジャクソン郡に送られた。予言者とその一行がカナダにいる間に主は啓示を与えられて、この二人の兄弟たちは主の御手の中にあり、また彼らが主のいましめを守るならば救われると仰せになった。（教義と聖約一〇〇・一四）

次の言葉から私たちは主の僕たちが主に仕えようと努力しているときに、経験する事柄を知ることが出来る。

……末日聖徒の全歴史を通じて、主はその忠実な僕たちを彼らの使命が果されるまで、陸地や海上での危険から、また敵や不信の友の中での危険から保護し給うた。それはしばしば奇跡的になされた。（教義と聖約注釈六三四頁英文）

約束と予言

一〇〇章の最後の三つの節には聖徒と主のみ業に関するいくつかの約束と予言が含まれている。

このゆえに汝ら心安かれ、万事正しき行ないをなす人々と教会の聖めのために結局好転すればなり。

われは義しくわれに仕えんと慾する一つの清き民をわがためにおこさんと慾す。

すべて主の御名を呼びてその誡命を守る者は救わるべし。誡に然り。（一五―一七節）

この課はこの聖句の中の約束と予言に関係している。

(1) 万事は豊かな祝福をみつける清められし人々のために結局は好転する。

(2) 誡命を守る人々は救われる

(3) 主は主に仕える人々を育てあげる。

クラス討論

私たちは福音を通じてどのように慰めをみつけることが出来るか？

「安心せよ」

苦労、心配、苦難のときに、イエス・キリスト教会の会員たちは助け主である聖霊によって祝福される。（ヨハネ一四・二六、一五・二六）人は主が心から求める者に聖霊を共に与え給う真理のあかしを受けることが出来る。

この世にある平和、安息、慰めは従順であったゆえに与えられた祝福である。（ジョセフ・スミス福音の教義ソルトレイク市　デゼレト・ブック社、一九五六年版一二五―一二七頁）

慰めはこの祝福を求めるすべての人々にくる。そして宣教師たちは苦難と失意の中にあるとき、慰めをみつけることが出来る。モーサヤの息子たちはレーマン人の中での、宣教師としての経験を述べたとき、アルマと共に喜んだ。何故なら彼らは祈りと断食により自分自身を備えたからである。

……主は「みたま」をかれらに与え、安心せよと言いたもうたので、かれらはそれで心が安らかになった。（アルマ一七・一〇）

すべて悲しむ者は慰めをうけると書かれている。（マタイ五・四、第三ニーファイ一二・四）この世を去った愛する人たちのために悲しむ者にとって、死後も意識ある存在があると言う知識は強い防壁となって続いてゆく。この世で忠実に献身的に主に仕えるならば報われる。（教義と聖約五九・二、六三・四九）

主のみ業が究極的には勝利を得ることに関する多くの予言によって、末日聖徒の誰もが慰めをうける。このみたまは喜びと幸福をもたらす真理を証する。ニーファイ人の最後の歴史家であったモロナイは、彼の筆が拙いために末日にモルモン経を読む人たちが、彼の警告に注意しないのではないかと気づかっ

た。それに対して主は人々が信仰をもって主に来るならば、主が彼らを強くし給い、また信仰と希望と愛との三つが彼らを主にみちびくものであることを教え示すだろうと仰せになった。これを聞いたモロナイはその心配が去り慰められた。（イテル一二・二四―三〇）

私たちの時代の聖徒に対する約束の中で「万事は正しく歩む人々のために好転する」ことを知らせ給うた。教義と聖約一〇〇・一五）正しく歩むとはいましめを守ることである。もし教会の会員が救われないならば、主のみ前に正しく歩み、この世の生活には目的があることを認めるだろう。人が試練、苦難、愛する人々の死によって受ける悲しみや、人がその生涯の中で経てゆく浮沈はみな、人生経験の中の一部として受け入れられるもので、それらは人々によからんために与えられるのである。（同上一二二・五―八）しかしながらいましめを守る者のみが知識と平和と慰めが、安息と理解を与えてくれることを知ることが出来る。

教会を神聖にすること

自らも清くすることが知識あるすべての末日聖徒の目標である。（教義と聖約八八・六七―六八）マリオン・ジー・ロムニイ長老はバプテスマと教会員となるための確認の門を経て、私たちはこの過程を始めたのであると言われた。

……これらの福音の原則と儀式を通じて私たちは清められたのである。こうして私たちはその衣服をキリストの血で洗い、直き門を通って入り、永遠の生命に通じる狭き道に立った。この贖われた状態を常に維持することはこれまでも、また現在も教会のあらゆる会員の望みである。（大会報告一九六五年一〇月一七頁）

聖霊によって再び生れることは肉体的状態から霊的状態に変ることによって、罪を清められることへの第一歩であり、すなわち神聖な状態である。（モロナイ一〇・三二―三三、第三ニーファイ二七・一九―二一）この忠告はときに完全を求めると言う言葉で述べられている。（第三ニーファイ一二・四八）変ることを通じて人は悔改めの原則にあてはまるはずである。

教会が神聖にされるようになると言う予言の言葉は、結局はアメリカ大陸にシオンがたてられるための一つの要件である。当時の主の軍隊は一八三四年、聖徒がミズーリ州ジャクソン郡から追われたときの軍隊よりも、もっと多数で構成されていた。（教義と聖約一〇五・三一）清くされる人々の救いは多いけれども、教会の会員全部がそれに含まれると言う保証はない。この世の生活を清くし、終りの日まで耐えしのぶ者が日の栄の王国を受けることが保証されるのである。（教義と聖約八八・二、一一六）教会の会員が自分自身を清くして、主の忠告に従うとき、シオンの贖われる日は間近である。（教義と聖約四三・九、十一、一六、一三三・四）

清き人々

人々が心の清い者となることはシオンをたてることと密接な関係がある。

クラス討論

心の清き者であることはあなたにとってどんな意味があるか？　主は彼の民は義しく主に仕えようとする清き民であると仰せになっている。（教義と聖約九七・二一）またシオンは心の清き者とも言い給うている。（九七・二一）この考えは予言者ベンジャミンが下した聖徒の定義に一致している。

……肉慾に従う人は神の敵であって、アダムの随落してこの方そうである。しかし、人がもし聖霊の導きに従い肉慾に従うことをすてて主キリストの身代りの贖罪によって聖徒となり、幼児のように従順で柔和で謙遜で忍耐で愛情に富み、幼児がその父に従うように、主が負わせ給うすべてのことに喜んで服従しないならば、とこしえに神の敵となるであろう。（モーサヤ三・一九）

私たちはその行ないに於いてすなわち、心の清い状態に於いて聖徒となるはずである。すなわちこの世的な慾望に従う者から再び生れて霊的な者に変るはずである。（モーサヤ五・七）イエスは心の清き者は神を見るであろうと仰せになった。（マタイ五・八）

クラス討論

心の清き者とならずに日の栄に入る資格があるだろうか？

キリストの弟子となるまでの段階

人の心を清くすることにより主に是認されるためには、イエス・キリストの教えに完全に従順であることが要求される。「キリストの弟子であること」と言うのはキリストに従う者として、自己の命を完全に投げ出すよう自己を訓練することである。この意味に於いてどのようにして人は主の従者となることができるか？　ここにいくつかのガイドラインがある。もしそれを適用するならば成功するだろう。(1)研究により真理に執着すること。(2)祈り。(3)義しい行ない。(4)予言者に従うこと。(5)教会の儀式と活動。

一、研究により真理に執着すること

人は無智にして救われることは不可能なり。（教義と聖約一三一・六）福音の知識はもしそれを用うるならば、信仰は増し強められる。福音に対する興味に欠けたり、教会の仕事に不活発になることの主な理由の一つ

は、福音の原則をよく理解していないからである。ジョン・エイ・ウィズソウ長老はよく適用された知識は強い信仰をもたらすと断定された。

知識をためして実行に移して見ることは信仰の始まりである。それゆえ無智で救われることは不可能なのである。人の信仰の程度は幾分はその人の知識の多少によって決まる。知識を得れば得る程その人の信仰の領域は広くなる。

人が持っている信仰の度合いは、その人の知識の広さによって決まるものではなくて、その持っている知識を確信しそれを正しく用いることによって決まる。このように多くの知識を持っている人でも、弱い信仰を持つことが出来、反対にわずかの知識しか持たない人が強い信仰を持つことが出来るのである。（ジョセフ・スミス　ソールトレイク市　ブッククラーフト一九五七年　一六三頁　英文）

もし信仰が救いを生ずる程に大きくされるはずとすれば、その信仰は真実のものに対しておかれねばならない。（アルマ三二・二一）知識に対する確信が増大されるとき、真理を識別する能力は増大する。何故なら真理は忠実な者にとって見極めることの出来るものであるからである。（アルマ三二・三五）

世界は福音の教義と相容れない偽りの教義や理論、観念になやまされている。今や末日聖徒が真理と偽りを識別する必要が迫っている。主は古代の弟子たちに、あざむかれることのないように、彼らは主のみ言葉を宝とすべきであると仰せになった。

誰にてもわが言を宝とする者はだまさるることなからん。人の子の来るや、その天使たちを大いなるラッパの音と共に彼に先立ちて遣わし、天使たちは天のこの極よりかの極まで四方より選民の残れる者を寄せ集めん。（高価なる真珠ジョセフ・スミス　一・三七）

二、祈り

教義と聖約一〇〇章で主は彼のいましめを守るすべての者に対し、救いを約束し給うた。いましめを守ることの中で、祈りの重要さは次のように主の約束の中で指摘されている。

而してすべて主の名を呼びてその誡命を守る者は救わるべし。誠に然り。アーメン（教義と聖約一〇〇・一七）

家族の祈りと一人で秘かにする祈りの影響を喜ぶ者のみが、救いと祈りの関係を真に理解することが出来る。この世の太初に於いてアダムさえ「いつまでも御子の御名によりて神を呼ぶべし」と警告された。（高価なる真珠モーセ五・八）そのときより現在の時代にわたるまでこの重要な原則の上に考慮に価する強調がおかれてきた。ニーファイは人の生活の中での祈りの重要さについて述べている。

……あなたたちは力を落さずにいつも祈らなくてはならない。そして自分たちの働きが自分の身も霊も救われるように天の御父がその働きを祝福し給うよう、キリストの御名によって先づ天の御父に祈らないでは主の御前にどのような働きもしてはならないと」（第二ニーファイ三二・九）

いましめを守ろうと努力することにより、知識を増し強められる末日聖徒は、近代の啓示の中で示されている次の重要な原則を学ぶ。

すなわちわれに近づけ。さらばわれ汝に近づかん。熱心にわれを求めよ。さらば、汝らわれを見出さん。求めよ、さらば与えられ、叩けよ、さらば開かるることを得ん。何にてもわが名によりて御父に願うところ汝らのため必要なることは汝らに与えらるべし。されどもし何にても汝らに必要ならざることを願わば、かえって汝ら罪せらるることとなるべし。（教義と聖約八八・六三―六五）

老いをも若きをも惑わそうと多くの努力がなされていると、家族の祈りを持つようにと言う主の命に従うことは肝要なことである。

汝らの妻子が祝福を受くるようたえずわが名によりて家族の祈りを御父に捧げよ。（第三ニーファイ一八・二一）

「誘惑に陥らないように目をさまして祈っていなさい」と主は忠告し給うている。（マタイ二六・四一、教義と聖約一〇・五）

三、義しい行ない

罪をおかすこと以上に、人に祈ることを止めさせ、主の教えに従うことを止めさせるものは多分他に何もないであろう。教会の会員であることを宝とする者は、主のみたまから彼を取り去るようにこれらのことを速やかに悔改め、聖徒たちと親しい交わりをもつだろう。

四、予言に従うこと

現在の生ける予言者の教えを顧みないでは誰も成功した末日聖徒になることは出来ない。主の僕たちを拒否することにより、主の冷遇を招くことは自己の昇栄を失うことである。（教義と聖約八四・三五―三八、四九―五三）

わが民もしわが声を聴き、またわが民を導くために任命したるわが僕らの声を聴かば、見よわれ汝らに告ぐ、わが民はその住むところより居を移されざるべし。

されど、もしわが民にしてわ

が声を聴く念なく、またわが任命したるこれらの人たちの声をも聴く念なきときは祝福を受くることなからん。そは彼らわが聖地を汚し、またわが聖なる儀式と憲章、わが彼らに与うる聖き言を汚せばなり。（教義と聖約一二四・四五―四六）

五、教会の儀式と活動

クラス討論

教会の儀式と活動がどんな点で私たちに救いをもたらすか？

もし私たちが忠実に主に仕えるならば、私たちのとなり人に対してもやはり同様に仕えねばならない。教会活動に参加することは教会の他の会員との交わりを与え、こうしていましめを守ろうとする望みは増し強められ、信仰は大きくされる。才能と賜の発達は他の人に奉仕することにより可能になる。十二使徒定員会のジョージ・エフ・リチャーズはこのようにそれを表現しておられる。

「ある人はこうたずねるかも知れない。私たちが教会で見るすべての諸活動、外国でのまた本国に於ける伝道、ステーキ部ワード部での伝道、神権定員会補助組織に於ける活動、系図や神殿の仕事に於ける活動、教会の学校や学院その他に於ける諸活動はみな何んのためですか？」と。その答は家単であるすなわち人の救いがそれにかかっているからである。それは神が啓示された福音の計画によって神の子供たちの救いを成しとげるための神のみ業であり栄光なのである。教会の中で見られる宗教的諸活動とその中で私たちが従事している働きはその目的のためにあり、またもっとも立派な業、すなわち人が従事しうるもっとも重要な働きの中で主を助けているのである。（大会報告一九三六年四月七九頁英文）

予言者ベンジャミンの言ったこの原則を理解することは賢明なことである。

ごらん、私がこれらのことを言うのはお前たちに知識を与えるためであって、またお前たちが同胞のために務めるのは、ただお前たちの神のために務めるのであることを悟らせるためである。（モサヤ二・一七）

結論

主は主に従う者たちに対して、もし彼らが自分を清くしようと求めて主のみ前に正しく歩み、それにより教会を神聖にするならば彼らは慰めを与えられるだろうと言う特別の約束をなし給うた。主は心の清き人々をおこすだろうと仰せになっている。私たちにとって賢明に決定されている事は、地上にシオンを打ち立てる機会をもつ多くの人々となることであり、また主により是認された人たちと共に、主がその忠実なる子供たちに与えられるもっとも豊かな祝福をうけつぐ者となることである。

検討のために

一人一人が主の弟子になることが何故非常に大切なことであるかを強調して、主の弟子になる方法についてあなたの家族と討論することは家族にとってためになると思いますか？

霊的生活

ロイ・W・ダクシイ長老

教義と聖約

八〇課　神のみ業の最後の勝利

目的　末日聖徒の婦人は神のみ業の最後の勝利に分かちあづかるために従順と勤勉により得ようと努めること

序文

教義と聖約の一〇一章はミズリー州ジャクソ郡の聖徒らの迫害された理由を含んでいる。シオンのステーキ部は聖徒らが集合することの出来る避難所となるはずであった。（一七―二二節）

聖約によって聖徒らは地の塩であるけれども忠実でない者はその味を失った塩のように神の王国に於いて役に立たなくなる。主は聖徒らの中には信仰を守ってその命を投げ出すよう召される者もあると仰せになり、また、それらの人たちに対して永遠の世界に於いて完全な喜びが訪れるだろうと仰せになった。（三五―四〇節）

譬

主は聖徒らがシオンで罪をおかしたことやミズリーに於ける聖徒らが彼らの地を回復することの出来る計画を譬を用いておあらわしになった。昔に譬を用いて示された宗教の真理を一〇一章にある譬と比較しなさい。（イザヤ五・一―七、マタイ二一・三三―四六）譬を用いて教えると言うこの形式は次のように述べられている。

……譬話はそれを聞く人々にその人の信仰と理解力に応じて宗教の真理を正確に伝えるものである。鈍く理解力に欠けている人々にとっては「見ても見ず、聞いても聞かず」単なる話にすぎない。一方教えをうけた霊的な人々にとって、それは天の王国の神秘と不思議をあらわすものである。このように譬話はあらゆる真の知識の状態をあらわしているものである。真の知識を求める者のみが譬話によってそれを見つけることが出来る。

〝ペラブル〟と言う言葉それ

自体の起源はギリシャ語であって、その意味は並べ置くこと、比較と言うことである。譬の中には神の真理が物質的なことに比較して説明されている。（聖書辞典、末日聖徒イエス・キリスト教会のために特に製本された聖書（L・D・S宣教師用聖書　一一四頁英文）

末日聖徒の教会歴史の光によって解釈が与えられている一〇一章の四三―六二節にある譬は次の通りである。ある貴人（主）がその僕ら（教会の会員）を葡萄園（ミズリー州ジャクソン郡）に行かせ、かんらんの木を植えさせた。僕らは葡萄園の実を損おうとしてやってくる敵の行動を発見することが出来るように一個のやぐら（神殿）を建てるはずであった。この貴人の僕たちは葡萄園の主が命じた通りになし、一個のやぐらの基礎をおくところまで仕事をすすめた。しかしながら平和な時代にやぐらを建てると言うことについて彼らは異議を唱え始めた。

僕たちはこの計画を遂行するために一致団結しなかったために敵（ミズリー暴徒）に葡萄園を踏みにじらせる機会を与え、また僕たちはその地を追われる破目に陥った。この災を聞いたあるじはその僕らにもし彼らが命じられたようになし、やぐらを建て塀の上に番人共（教会の役員）をおいていたならば葡萄園を敵の手から防ぎ守ることが出来たであろうことを思い出させた。何がなされるべきか？僕らの一人（ジョセフ・スミス一〇三章二一節）は僕らの戦っている者たちを集め、若き者と中年の者たちを引き連れ葡萄園を取り返すよう命じられた（土地を購入するために充分な兄弟を集めよ、一〇三・二三）何故ならこれは主のものであり、価を払って購入したものである。しかし一人の僕は主に向かい「葡萄園は何時買い戻されるべきですか？」とたずねると主は「私がなそうと思うときに」と答えた。しかし僕らは葡萄園を買い戻すために忠実な者たちを集めて命じられた通りになすべきであった。（教義と聖約一〇一・四三―六〇）

この啓示は続いてジョセフ・スミスが確認の印と祝福を受けたことを説明している。主はジョセフ・スミスを忠実にしてかつ賢き管理人、神の王国の統治者と宣言し給うている。（六一節）主はこの予言者が主が命じた通りになすであろうと言うことをご存知であった。何故なら主はニーファイにこの予言者が献身的な僕であるだろうことを啓示されている。「彼はわが命ずる仕事をなすがゆえに」（第二ニーファイ三・八）先に述べた譬の中ではその僕は主が命じた通りをなし「多くの日を経てすべてのこととごとく成就したり」とある。（教義と聖約一〇一・六二）

裁きの前の集合

ジャクソン郡から追われたことは聖徒をしてその従事している救いの仕事を続けてゆく気力を失わせはしなかった。これらの仕事を出来る人は指定された聖なる場所に集合するよう勧告された。啓示にはこれらの場所にステーキ部と言う名称が与えられている。（二〇―二一節）この啓示の中で主は八六章の始の方で説明されている小麦と毒麦との譬話に注意を促してい給う。キリストの再臨のときには義しい人々と悪しき人々との分離があるだろう。その日には小麦すなわち、主の聖徒らは永遠の生命をみつけ、一方毒麦すなわち、悪しき者は裁きを受けるだろう。最後にはあらゆる人はその行為に応じて報いが与えられる。（六三―六七）

土地の購入

もし聖徒らが彼らのゆずりの地に戻ろうと思えばシオンの地とその周りの地を購入する必要があった。このことは繰り返し命じられている。（六九―七一、六三・二五―三一）教会の種々の支部は土地購入のために寄付をすべきであると望まれている。（一〇一・七一―七五）

損害の補償を求めよ

聖徒らはこの国の憲法に従って、彼らに対して犯された罪に対し損害の補償を切に願うよう告げられた。アメリカ合衆国憲法は財産と自由を保護することが出来るように主が挙げられた人々によって準備された。（一〇一・七六―八〇、扶助協会マガジン　一九六六年一一月七七課）

主は聖徒らが損害の補償をどのようにせがむべきかを知ることが出来るようにもと正しからざる法官の譬話を引いて話し給うている。（ルカ一八・一―八、教義と聖約一〇一・八一―八四）これを聖徒らにあてはめるならば彼らは法官からの助力を求めるはずであった。法官がもし助力しない場合は知事のところへ行くはずであった。そして最後には大統領のところへ行くべきであった。もし大統領のところでも満足を得られない場合は主が国民を処理し給う。（八五―九一）

結果

聖徒らがジャクソン郡にある彼らの地に戻る方法について示された主の警告に従うために彼らがとった試みは次のように要約されている。

聖徒らは損害の補償を求めて統治者たちに切に願った。何人かの法官の戸を叩いた後、聖徒らはミズリー州のダンクリン知事にあてて何度か手紙を出した。一八三四年二月四日付の手紙でこの知事は聖徒たちに彼らの地を取り戻させることに対しまた、何故ピッチャー大佐が聖徒から武器を取り上げたかを調査することに対して当局の義務を認めている。彼はまた全州が法律を忠実に実施することに関

心を持っていることを承認した。「何故なら、今日モルモンの問題であることが明日はカトリックの問題であるかも知れない。そしてその次にはまた別の宗派の問題となるかも知れない。そしてその人たちはこの国のどこにあっても、そこにいる大部分の人々にとって不愉快な存在となり、モルモンが受けたような迫害を受けるかも知れない」彼は法廷に訴えて聖徒らをその地に帰らせるようにしている間は、人々を保護する用意をするように提案した。しかし聖徒らがこの彼らの地を永続的に持つことに対しては保護を保証しなかった。それゆえ聖徒らは賢明にもミズリーに帰り、暴徒をしてさらに乱暴を犯させることのないようにした。（教義と聖約註釈六五二頁英文）

この満足出来ない約束のあと引き続いて、聖徒らがミズリーから追われたとき、民政当局に対して特別の訴えがなされた。この書は次のように続けている。

請願書は送られ、そして遂には予言者ジョセフ・スミスはアメリカ合衆国大統領個人に親しく訴えた。しかしこれは単にかの有名な言葉すなわち「あなたの言い分は正しい、しかし私はあなたに何もしてあげることは出来ない」と言う返事を引き出したに過ぎなかった」（教義と聖約註釈六五二頁英文）

一〇三章

ミズリー州クレイ郡の聖徒らは大会を開きジャクソン郡にある彼らの地に聖徒らを戻すために何がなされたかを知るために、オハイオにいた予言者の許に行く志願者を募った。この事情についてパーレィ・P・プラット長老は次のように書いている。

全体的な貧窮ときびしい寒さは人々をためらわせた。少くともレングスレイマンと私は私たちの仕事を他の人にして貰うよう頼み、それは喜んでうけ入れられた。当時私は旅行をするに適した衣服を全く持ち合せていなかった。また馬も鞍も馬車もなく、また持って行くお金も食糧もなかった。また病気でねこんでいて一人ではほとんど何も出来ない妻を残して行かねばならなかった。

このような状態の下で私は何をなすべきか分からなかった。ほとんどすべての物は強奪され略奪されて誰も彼も皆貧しかった。私たちは即刻にも出発せねばならなかったのでこの企てに身ぶるいする思いであった。それはほとんど不可能のことのように思われた。しかし「信ずる者にはどんなことでもできる」はずである。（マルコ九・二三）

……間もなく私たちは用意を整えて二月の一日に人々の励ましに送られ馬上の人となり、千哩も千五百哩もある荒野を越えて行く旅に出発した。出発したとき私たちのポケットには一セントのお金もなかった。

私たちは来る日も来る日も旅を続けた。嵐の吹きすさぶ日も日の照り続く日も、ぬかるむ日も、雨の日も、そしてまた雪の日も。ただ私たちの公務上とどまらねばならなかったときを別として、私たちはその年の早春に何事もなく無事にカートランドに着いた。私たちは道中では何かが欠乏して困ったと言うことは全くなかった。そして今は手の中に沢山の資金を持っている。カートランドにいたジョセフ・スミスと教会の人たちは聖徒間ならでは知ることの出来ない歓待と喜びでもって私たちを迎えてくれた。そこでも他の場所と同じように私たちの迫害の問題に関して非常な関心が感じられた。（パーレイ・P・プラットの自叙伝ソールト・レイク市デザートブック社一九五〇年一〇七―一〇九頁）

クラス討論

あなたの上に立つ人々に従うならば報われると言うことはあなたの信仰をどのように強めますか？　一〇三章の中で主は聖徒らの中でもっともさし迫った質問――シオンは何時贖われるかに対して答を与え給うている。前に主が仰せになったようにオハイオとその他の州の教会の会員はシオンを買戻すために充分なお金を集めまた救援隊を組織する必要があった。もし彼らが主の警告に従わなかったならば、味を失った塩のごとくになったであろう。シオンの買戻しを援助するための大きな義務が教会の会員の上におかれたのである。それは非常に大切なことであったので、予言者ジョセフ・スミスは次の予言をした。

もしシオンを救い出すことが出来ないならば、見つけられることの出来るすべての教会が同様に迫害を受け滅される日が真近にあるだろう。（DACⅡ・五三）

その後続いて起った事件は、シオンがそのときには買戻されなかったことを証明している。教会の支部はミズリーからイリノイへ散らされ、後では東へと追われた。

勝利への神のみ業

聖徒らはもしいましめを守るならばその敵を征服し、最後にはこの世を受けつぐであろうと言う広意義に於ける約束をうけた。次の予言は現在成就しつつある。

されどわれ誠に汝らに告ぐ、わが民、主にして彼らの神なるわが与えんとする助言に即刻聴き従わば、わが民の真実なりと認むる神の命を授けん。

見よ、われ命を授けたれば彼らは即刻その敵を征服し始めん。

主にして彼らの神なるわが語らんとするすべての言を聴きてこれを守ることによりて、彼ら

はこの世の国々わが脚下に服し、聖徒らにこの世の与えられていつまでもこれを占むるに至るまで敵に打ち勝つを止めざるべし。（教義と聖約一〇三・五―七）

この著しい予言は末日にこの世に神の王国が建てられることについてダニエルが言った古の予言にその根をおいている。（ダニエル二）末日聖徒イエス・キリスト教会はその王国であり、全世界にみちみちるように約束されている。王国の鍵はすでに回復されて、ただときだけが福音が全世界にみちみちて完全に達成するのを見るであろう。（教義と聖約六五・二）敵の襲撃は神のみ業に決して打ち勝つことはないだろう。教会が敵によって打ち負かされるときがあるかも知れないが敵の勝利は一時的のものに過ぎない。一〇三章のこの予言に関してジョセフ・F・スミス大管長は一般大会に於いて、この予言が真実でなかったらその理由を示すよう世の人々に返答を求めた。この予言は激しい反対にあったにもかかわらず成就しつつある。（ジャーナルオブ・ディスコース　二五・九八　英文）

一八三九年先に聖徒らがミズリーから追い出された後、イリノイから追われる前に彼らはナブー市の基礎を置いていた。この町の住民はおよそ二千人に増加した。当時、ジョセフ・F・スミス大管長が神のみ業が継続されていることについて彼の証と保証を与えられたとき、教会の会員数は一六万人をかるく越えていた。このとき以来、毎年一万人以上も会員が与えたために八年後には会員数は二五〇万人以上に増加した。末日聖徒はこの教会が福千年までに全世界にみちると言う予言の完全な実現を期待してはいない。聖徒らは知っている。この世が日の栄に聖化されるときに地球が永遠に彼らのものとなることを。またこの予言が現在成就しつつあることを知っている。

予言者ジョセフ・スミスがこの末日の時代の初期に、教会は絶えず進歩すると言うことについてのある知識を持っていたと言うことは一八九八年大管長ウィルフォード・ウッドラフにより報告された次の記事の中に指摘されている。一八三三年幾人かの兄弟たちは神権会に集い、神の王国が絶えず進歩してゆくことを証した。そしてそのとき予言者はこのように証をした。

……「兄弟たち、私は今晩ここであなた方の証を聞いて非常に高められ教えられた。しかし私はあなた方が母の膝の上の赤ん坊のように教会と王国の行末について何も知らないと言うことを神のみ前であなた方に話したいと思う。あなた方はそれを悟っていない。」これを聞いて私は幾分驚いた。彼は言った「あなた方が今晩ここで見ているのはほんの一握りの神権にすぎない。しかしこの教会は北アメリカ南アメリカに及びやがて全世界にみちるだろう」また別の話の中でジョセフは言った「教会はロッキー山脈にみちるだろう。幾万もの末日聖徒がロッキー山脈に集まるだろう。そしてそこでレーマン人の間に福音を確立するための声を聞くだろう。レーマン人たちは福音と彼らのエンダウメントと神の祝福を受けるであろう……」

私は神と天使と人々の前に証をしたいからこれらのことを言う。私の目はその日を見、私の生涯のあとの五十年にこの予言の成就を見た……（大会報告一八九八年四月五七頁英文）

一〇三章にある予言に比較してそれよりさらに詳しく述べられているこの予言が今成就しつつあることを誰も心から否定することは出来なかった。

世の光

末日聖徒はバプテスマの聖約により世の光となるはずである。この召しに於いて聖徒らは永遠の生命への道を人々に示すはずである。もしこのいましめに従うならば彼らは人々を救う者となる。（教義と聖約一〇三・九―一〇）

クラス討論

人々を救う者とはどんな意味か？　またどのようにしてそれを成し遂げることが出来るか？主が仰せになったように私たちは自分の才能を柵の下にかくすべきではなくて「あなたがたの光を人々の前に輝かし、そして人々があなたがたのよいおこないを見て、天にいますあなたがたの父をあがめるようにしなさい」（マタイ五・一六）この謹厳な考えは教会の会員がいくつかの方法で人々を救う者となることが出来ることを暗示している。第一は人々が彼の行ないより福音の成果を見、福音を求める者となることが出来るよう模範的な生活をすることによって、第二は人々が福音を学ぶときその言葉を信ずることが出来るよう真理の模範となることによって。第三は他の人の救を手伝う者となるために系図を調べて死者のために神殿の儀式を行なうことを通じて働くことによって。

買戻しの約束

聖徒はシオンの町と神殿を建てるためにシオンの中心地に戻るだろう。主はそう述べられた（教義と聖約一〇一・一七―一九、一〇三、一一）生ける予言者たちはこのことが成就されるときを待ち望んでいる。

教会が回復されて将来シオンが必ず買戻されると言う約束の成就は確実である。しかし教会のすべての会員については同様の保証はない。彼らのゆずりを汚す者は打ち倒されるだろう。（同右一〇三・一四）

献身を通じての勝利

クラス討論

永遠の生命に到達するために私たちの助けとなるいくつかの特質は何ですか？

主は仰せになった、勝利と栄光への道は三つの特質すなわち勤勉、忠実、信仰の祈りを通じて得られると。

受けた召しの義務と責任を勤勉に遂行し、いましめを守るならば主の最高の祝福が与えられる。神権の啓示の中で主は次のように仰せになっている。

このゆえに、今や神権者皆各々その義務を覚れ。また己が任命せられたる務めを全く勤勉に勤むべし。およそ怠惰なる者はその地位に居るに値せず、またその義務を覚らず信任さるるに足る行を示さざる者は、その地位にある値なき者なり。誠に然り。アーメン（教義と聖約一〇七・九九―一〇〇）

末日聖徒の生活に於いて忠実であることの重要性とその祝福はデルバート・L・スタプレイ長老が書いた次の一節の中にあらわされている。

完全な従順と忠実は信仰をもった教会の会員の中にあって充実した交わりを得させ、さらに重要なことは天父が御子に委託されたすべてのものを私たちの主キリストと共に受けつぐ共同の継承者となる価値を得させる。（大会報告一九六一年四月六五頁英文）

J・ルーベンクラーク副管長は教会の会員に対し、いましめを実践するように、そしてそのときにこそ信仰の祈りが深い意味を持つだろうと忠告された。

さて……あなたは主があなたの祈りを聞き給うと言う道理に適った確信をもって主に祈ることが出来るよう生活していますか？ あなたは幼ない子供たちのためにあるいはあなた自身のためにあるいはあなたの妻のためにその病をいやしてもらうよう願うことが出来ますか？もしそれが出来るならば、ときが来たときあなたは幸いになり、信仰をもって主に祈るだろうし、またその信仰の祈りは聞かれるだろう。

私が言ったように……私たちはその祈りの中でまたその信仰の中で常に主に対して「御意のままになし給え、われらの心にはあらず」と言うべきであると思われる。（教義と聖約一〇九・四四）

さて……もしあなたが自らを整えることをしないならば主のいましめに従わなくなるはずである。そのときが来たときに清い心を持って主のもとに行きあなたの上に主の祝福を願することが出来るように自らを整えることを一日のばしにしてはならない。（大会報告一九五二年一〇月八四頁英文）

誰でも勤勉に忠実に信仰の祈りをもって主に仕える者は永遠の生命をみつけるだろう。

検討のために

私たちはなすべきであると知っている通りに生活し、また私たちが受けた召しと責任の義務を履行するならば家族に対しどんな影響を与えますか？

社会

アルバータ・H・クリステンセン

地上でも又天でも

第三課　我に従え

（第二ニーファイ三一章一〇節）

参考　On Earth and in Heaven メルケゼデク神権者用手引―一九六七年、第二〇及び二一課

目的　末日聖徒の姉妹たちが、バプテスマの儀式について理解するのを助け、この永遠の聖約に伴う個々の責任を指摘する。

フォローアップ

導く力としての特別な祝福について子供または大人の反応をクラスの誰かに話してもらいなさい。

序

一つの言葉としての、また宗教的儀式としてのバプテスマは私たちにとってあまりにも身近になりすぎて、欠くべからざる福音の儀式として意義ある特色をしばしば見落している。

私たちは次のような問題に対する明確な答えをあまりよく知らない。(1)誰が、またどのようにこの地上で最初にバプテスマを受けたか？ (2)古代の予言者たちはバプテスマを受けたか？ (3)古代のアメリカ大陸でバプテスマが行われたか？ (4)何故浸礼がバプテスマの正しいやり方か？ (5)バプテスマの儀式にはどんな象徴が含まれているか？ (6)救い主イエスは罪がないのに何故バプテスマを受けたか？

このレッスンは一九六七年度メルケゼデク神権者用手引第二〇、二一課と密接に関連してこれらの問題を考えるものである。

古代のバプテスマ

私たちの最初の父祖であるアダムがバプテスマを受けたことは次のように記録されている。

而して、主、われらの父なるアダムと語り終えたまいしとき、アダムに向いてよばわりたるに、主の「みたま」に

よりとらえられ行きて水の中に引き込まれ、水中に沈められて、また水より引き出されたり。かくの如く、アダムはバプテスマを受け、神の「みたま」彼に下れり。かくして彼は「みたま」によりて生れ内なる人に於て生かされたり。而してアダム天より語る声を聞けり、曰く、汝は火と聖霊とをもてバプテスマを受けたり。これ今よりとこしえに至るまで父と子の証なり。（モーセの著六章六四―六六節）

旧約の族長や予言者の時代にバプテスマが行われたことは次の聖句に示されている。

信じて汝らの罪を悔い改め誠にわれらの先祖の如く神の子イエス・キリストの御名によりてバプテスマを受けよ。さらば聖霊を受けて、あらゆること汝らに明らかにせらるべし。……（モーセの著八章二四節）

古代のアメリカでは

救いに欠くことのできない儀式としてバプテスマはイスラエルの古代の予言者がよく知るところであったことは聖典の中に十分な根拠を持っている。バプテスマはまた、古代のアメリカ大陸においても行われていたのである。キリスト降誕の何百年も前、予言者たちはときの絶頂にメシヤが来ることを予言し、バプテスマの意義と祝福を含む福音の原則を人々に教えた。その結果次の聖句にみられるように無数のバプテスマが救い主の誕生以前に行われたのである。

ニーファイとリーハイは伝道に必要な権能と威勢とを与えられ、また言うべきことも示されたから、大きな権能と威勢とを以てレーマン人に道を宣べた。それでレーマン人らは大いに驚いて感化を受けそのころゼラヘムラの地ならびにそのまわりには、すでに悔い改めたしるしとしてバプテスマを受け、その先祖の言伝えが悪いと認めるようになった者が八千人あった。（ヒラマン書五章一八―一九節）

バプテスマのヨハネが言った『主の道を備えよ、その道筋をまっすぐにせよ』（マタイ伝三章三節）という声がユダヤの荒れ野で聞かれる約六百年前、予言者リーハイはアメリカ大陸で救い主が来り給うこと、またヨハネがヨルダンのかなたのベタバラでバプテスマを施し、彼の道を備えるという使命と、彼が「またバプテスマは水で施し、まことにメシヤに水でバプテスマを施す」（第一ニーファイ一〇章九節）という予言をした。

リーハイはイエスが水でバプテスマを受けた後バプテスマのヨハネはこの世の罪を取り去って下さる神の子羊にバプテスマを施した事実を証するであろうと予言している。

よみがえった主がアメリカ大陸のニーファイ人を訪問されたとき、

「イエスはニーファイを呼んで（ニーファイは群衆の中にいた）ここへ来よと言いたまい、ニーファイが起って行ってイエスの御前にひれ伏しその御足に口つけをすると、イエスはニーファイに立てと言いたもうたので、ニーファイは身を起してイエスの前に立った。するとイエスはニーファイに仰せになった「われは汝に権能を与う。われが再び天に昇りし後、汝はこの権能を以てこの民にバプテスマを施せ」と。イエスはまたほかの者たちを召してこれらにも前と同様のことを言い、バプテスマを施す権能を与えたもうた。それから、権能を受けた者たちに教えて宣うた『汝らは次の方法を以てバプテスマを施さざるべからず。より て、この儀式につきては今後再び論争すべからず。まことにわれ汝らに告ぐ、汝等の言葉によりてその罪を悔い改め、わが名によりてバプテスマを受けんと願う一切の人々に、汝らは次の方法を以てバプテスマを施さざるべからず。すなわち汝ら下り行きて水の中に立ちわが名によりてかれらにバプテスマを施せ』（第三ニーファイ一一章一八―二三節）

全ての正しいことを成就するため

ローマ皇帝チベリウム・カエサルの治世第一五年にエルサレム近郊の人々はザカリヤの息子ヨハネ、後にバプテスマのヨハネと呼ばれた者の耳なれぬ説教に目をさまされた。彼のメッセージの主旨に悔改めと罪の赦しのためのバプテスマであった。

「悔い改めよ、天国は近づいた」（マタイ伝三章二節）と荒野の声が言った。信仰を持っていることを認め、罪を告白した者には水に浸める浸礼によってバプテスマを施し、「わたしは悔改めのために、水でおまえたちにバプテスマを授けている。しかし、わたしの後から来る人はわたしよりも力のあるかたで、わたしはそのくつをぬがせてあげる値うちもない。このかたは、聖霊と火とによっておまえたちにバプテスマをお授けになるであろう」（マタイ伝三章一一節）と宣言した。

この同じ予言者のところへイエスはガリラヤの家からヨルダンへ旅する途中バプテスマを受けるためにやってきたのである。

「ところがヨハネは、それを思いとどまらせようとして言った。『わたしこそあなたからバプテスマを受けるはずですのに、あなたがわたしのところにおいでになるのですか』。しかし、イエスは答えて言われた。『今は受けさせてもらいたい。このように、すべての正しいことを成就す

るのは、われわれにふさわしいことである』。そこでヨハネはイエスの言われるとおりにした。イエスはバプテスマを受けるとすぐ、水から上がられた。すると、見よ、天が開け、神の御霊がはとのように自分の上に下ってくるのをごらんになった。また天から声があって言った、『これはわたしの愛する子、わたしの心にかなう者である』。（マタイ伝三章一四―十七節）

予言者ニーファイはイエスのバプテスマにまつわる出来ごとを示現によって見、何故罪がなく悔改めの必要もない救い主がバプテスマをお受けになったのかについての知識を得た。

さて神の子羊は聖くましますのに、それでもあらゆる義しいことを尽すために水でバプテスマを受けなくてはならないならば、まして私たち聖くない者が水でバプテスマを受けるのはいかにも必要なことではないか。そこで私の愛する兄弟たちよ、私は神の子羊が水でバプテスマを受けることによって、どうしてあらゆる義しいことを尽したもうたか、これをあなたたちに尋ねたい。あなたたちは子羊が聖かったことを知っていないのか。子羊はたとえ聖くましましても、肉体を受けたもうによって天の御父の前にへりくだることと、天の御父に従ってその命令を守ると証明をすることとをバプテスマによって世の人に示したもうのである。それであるから、子羊が水でバプテスマを受けたもうた後、鳩が下るように聖霊が子羊の上に降りたもうた。また神の子羊がバプテスマを受けたもうたのは、人のふむべき道が真直であることと、人のくぐるべき門が狭いことを世の人に教えたもうのであって、子羊は自分から世の人の前にバプテスマを受ける模範を示したもうた。子羊はわれに従えと世の人に仰せになった。それであるから私の愛する兄弟たちよ、もしも喜んで天の御父の命令に従わないならば、私たちはイエスに従うことができるか。天の御父は「悔い改めよ、悔い改めよ。わが愛子の名によりてバプテスマを受けよ」と命じたもうた。また御子の声が「天の御父は、わが名によりてバプテスマを受くる者にはわれと同様に聖霊を与えたもう。故にわれにならいて、汝らの見たるわれの行いを汝らもせよ」と私に聞えた。（第二ニーファイ三一章五―一二節）

討論の為に

前記の聖句はイエスのバプテスマが「全ての義しいことを成就する」いくつかの方法を指摘している。

1　バプテスマの方式（浸礼）及びこの儀式の重要性、即ち「我に従え……汝らの見たるわれの行いを汝らもせよ」（第二ニーファイ三一章一〇節、一二節）という主の訓誡に関して全人類に模節を示す。

2　全てのことにおいて天なる神に従順であることを天父に証明する。

3　天父の前に喜んで自らへり下ることを立証する。

人類がなぜバプテスマを受けるのかという次の理由はイエスのバプテスマにもあてはまるだろうか？　話し合いなさい。

1　罪の赦しのため。

2　聖霊の賜物を受ける前に必要なもの。

3　救いを得るため。

4　日の栄の王国へ続くまっすぐで狭い道へ進むため。

5　地上の神の王国（教会）の会員になるため。

バプテスマとは何か？

バプテスマとは人がこの世で教会の会員となり、天父の日の栄の王国に入り進歩できるようにする救いの儀式である。

……人は新しく生れかわらない限り、神の王国を見ることはできない。……人は裁きの後、月の栄あるいは星の栄の王国に救われるかも知れないが、水と霊とによって生れなければ神の王国を見ることはできないのである。この様な人は月のような（即ち月の光がその象徴である）または星のような（即ち星の光がその象徴である）栄光を得るかもしれないが、幼児のようになり、神の御霊によって教えられない限り、シオンの山や生ける神の町天のエルサレムに来ることはできないし、また無数の天使と交わり、天において記録される長子の教会に集り、神即ち全ての人の裁き手、完全になった義人の霊、新しい契約の仲介者イエス等に近づくことはできない。

（ジョセフ・フィールディング・スミス編集「予言者ジョセフ・スミスの教え」一二頁（英文）、及びメルケゼデク神権者用手引On Earth and in Heaven 第二〇課）

近代の聖典にはバプテスマは「新しき且つ永遠の誓約」と呼ばれている。それは末日に新に啓示された故に新しく、また救いに欠くことのできないものとして太初からあり、地球が存在する限りこれからもずっと人に要求されることである故に永遠である。

一九六七年度メルケゼデク神権者用手引「On Earth and in Heaven」第二〇課には次のように簡潔にのべられている。

救いは聖約によって人に与えられる。即ち人は主と一つの聖約を結び、それによってある条件のもとに神の王国へ救われるのである。福音それ自体が永遠の聖約であり、そ

れによって救いが与えられ、人はバプテスマを受けることによって福音の聖約の条項を受諾するのである。要するにバプテスマは人が福音の聖約に署名することなのである。

古代アメリカにおいてかなりの数のニーファイ人がモルモンの泉のほとりに集り、アルマは「これらの人々に教えを施し、悔改めと贖いと主を信ずる信仰とを宣べ伝えた」。（モーサヤ書一八章七節）

……あなたたちは神の羊の群に入って神の民と言われること、たがいに苦難を軽くすること、たがいに喜んで助け合うこと、悲しむ者を思いやって共に悲しむこと、慰めが要る者を慰めること、また神に贖われ第一の復活にあずかる者の数に入って永遠の生命を得るよう、いついかなるときでも、どのようなところにいても、どんなことについても、死にいたるまでも神の証し人になりたいと心から思っている。従って、あなたたちがもしも真心からこれを望んでいるならば、あなたたちは主からますます豊かにその「みたま」を賜まるよう、主に仕えてその命令を守ると言う聖約を主に立てた証拠として、主の御名によってバプテスマを受けるのに何のさしつかえがあろうか」と。（モーサヤ書一八章八―一〇節）一九六七年度メルケゼデク神権者用手引第二〇課）

クラス活動

前記の聖句の中でアルマはバプテスマを聖約と呼び、次のようなことをしてもらうために人が喜んでなさねばならぬ多くの事柄を例挙している。

1　主の御霊、つまり聖霊の賜物をうける。

2　神によって贖われ、第一の復活にあずかる者の中に数えられ、永遠の生命を受ける。

モルモンの泉でアルマが要約しているバプテスマの聖約における七つの条件とは何か？

誡命として

バプテスマは単に人を福音の祝福にあずかるよう招くものではない。救いに欠くべからざるものとしてバプテスマをおきめになってから天父はこの救いの儀式に従う全ての人がバプテスマを受けることによって生ずる恩恵を得るよう望んでおられる。

救い主がニーファイ人に話された次のような言葉によってそれが誡命として与えられたことがはっきりわかる。

まことにわれ汝らに告ぐ、汝らの言葉によりてその罪を悔い改め、わが名によりてバプテスマを受けんと願う一切の人々に、汝らは次の方法を以ってバプテスマを施さざるべからず。すなわち汝ら下り行きて水の中に立ちわが名によりてかれらにバプテスマを施せ。そのときに用うる言葉は次のごとし。まずバプテスマを受くる者の名を呼びて、次に『われはイエス・キリストより権能を受けたれば、天父と御子と聖霊との御名に由りて汝にバプテスマを施す、アーメン』と言え。それよりその者を水の中に沈め、沈め終りて再び水より上れ。わが名によりてバプテスマを施すには右の方法を以って行なわざるべからず。何となれば、われまことに汝らに告ぐ、御子と父と聖霊とは一つの神会を成す。われは父にあり、父はわれにありて、われと父とは一つの神会の中にあり。さて、われが今汝らに命じたる通り、汝らはかくバプテスマを施せ。……（第三ニーファイ一一章二三―二八節）

いつの時代にも必要なバプテスマ

予言者ジョセフ・スミスは次のようにのべている。

「イエスが肉体を持ってこの世にお生れになる前の時代に「聖徒たち」はやがてこの世に来るべき御子イエス・キリストの御名によってバプテスマを受けていた。何故なら、人が救われるのはこの名前において他にないからである。そしてイエスが肉体をもってこの世に生まれ、十字架にかけられた後には、聖徒たちははりつけにされ、死人の中からよみがえり、天に昇られたイエス・キリストの御名によってバプテスマを受けたのである。つまり彼等もバプテスマによってイエスのように地に埋められ、栄光のうちによみがえるように、また主は一つ、信仰は一つ、バプテスマは一つであり、そしてただ一つの神、われわれ総ての父といわれているように無上の幸福の館の扉はただ一つなのである。（ジョセフ・フィールディング・スミス編集「予言者ジョセフ・スミスの教え」二六六頁（英文）

かたどって（象徴）定められた

「全ての福音の儀式は永遠の福音の真理を教え、象徴するような方法で定められた」（メルケゼデク神権者用手引第二一課）

救い主の肉と血の犠牲の記念である聖さんのパンと水はその一つの例である。このような象徴は浸礼によるバプテスマの儀式にも同様にみられる。すなわちキリストの死、埋葬、及び復活を象徴しているのである。

儀式は正当な神権保持者によって執行され、水による浸礼と次のように定められたバプテスマの祈りの言葉を唱えることによって行なわれる。

「われはイエス・キリストより権能を受けたれば、天父と御子と聖霊との御名によりて汝にバプテスマを施す。アー

メン」（第三ニーファイ一一章二五節）

確固たる理由によって、水の中に体を浸す浸礼は唯一の認められたバプテスマの方式である。バプテスマのヨハネからバプテスマを受けたイエスによって示された模範はこの言葉を立証している。「水をふりかけたり注いだりする方法は、キリストの死後二～三世紀の間は流行しなかった。このような方法は一三世紀ごろまでは広く一般には行なわれなかったのである」ということは非常に興味深い。（ジョセフ・フィールディング・スミス著「救いの教義」第二巻三二三頁（英文）

ジョセフ・フィールディング・スミス副管長はさらに次のようにのべている。

バプテスマには次の理由により、体全体を水に沈める浸礼以外の方法はあり得ないのである。

1　バプテスマはイエス・キリスト及び復活した他の全ての人々の死、埋葬、及び復活を形どったものである。

2　バプテスマはまた、誕生をあらわすものであり、この世への子供の誕生を形どったものである。

3　バプテスマは復活のかたちばかりでなく文字通り一つの世界から他の世界、つまり罪の生活から霊的生活への転換である。（同書三二三―三二四頁英文）

第二の理由をさらに明らかにするものとしてモーセの書六章五八―六〇節に次のように書かれている。

ゆえにわれ汝に一つの誡命を与えてこれらのことを汝らの子らに自由に教えしむ。曰く。罪によりて堕落はきたれり。その堕落によりて死はきたれり。汝ら水と、血と、わが創りし霊とによりてこの世に生れたれば、塵よりして生ける「霊の結合体」になりぬ。されば、誠に汝ら水と「みたま」とによりて再び生れ、わが生みし独子の血によりて清められて天の王国に入らざるべからず。かくして汝らすべての罪より清められ、この世に於いて永遠の生命の言を受け、きたるべき世に於いて永遠の生命、まことに不死不滅の栄光を受くるなり。そは汝ら水によりて誡命を守り「みたま」によりて義とせられ、血によりて聖めらるるゆえなり。

クラス活動

1　「これらのことを汝らの子らに自由に教えしむ」とはどういう意味か？

2　子供がバプテスマを受ける年令が近ずくまで母親は「自由に教え」るのを待つ必要があるか？　もしそうでなければ、子供がもっと小さいときこの儀式のために子供をどのようにしつけるべきか？

3　以下は子供がバプテスマに関して知っておくべき数々の事柄である。時間が許す限り話し合いなさい。

A　バプテスマは主の誡命である。

B　バプテスマによって教会の会員になることができる

C　バプテスマはイエスによって示された模範の形である。

D　バプテスマは浸礼によって行なわれる。

E　バプテスマは罪の赦しをもたらす。

F　バプテスマをうけた後、人は自分の行動に責任を持つ。

クラスの中の最近バプテスマを受けた会員がいたら、その人にバプテスマを受けてから彼女の態度がどのようにかわったか簡単にのべてもらいなさい。

義を思え

バプテスマは人間の昇栄に欠くべからざる救いの儀式である。バプテスマの恩恵なしには責任ある人間は誰も日の栄の王国へ入ることはできないし、バプテスマは地上で行なわれるべき儀式であるから、神の律法の義はイエス・キリストの御名の聖なる神権の権能によってバプテスマを受ける機会がなく死んだ人々のために準備をするよう要求している。

死者のための身代りのバプテスマはその準備である。主の家は秩序の家であり、神の義は天の王国と地上の王国の両方で行なわれるのである。

家での課題

バプテスマのときの約束をチェックして、クラスで話し合いなさい。あなたの行ないを考えてみて、約束があなたの人生の指導的な力になっているか調べてごらんなさい。

あなたの家庭に子供がいたらその子にバプテスマを受けると自分の行動に責任が生じることをわからせなさい。

クラスリーダーのための覚え書

このレッスンをするに当って話の中でこれらの儀式が各姉妹自身の生活に、また一緒に生活する人々にどのように影響をおよぼすかを強調しなさい。

社　会

地上でも又天でも

第四課　汝らわが言うところを行わば

（教義と聖約八二章一〇節）

参考　On Earth and In Heaven
メルケゼデク神権者用手引一九六七年度版第二三及び二六課）

第三週

目的 教会である仕事に接手聖任される儀式や主の聖さんにあずかるときに、自分自分が心の中で決意し約束する必要があることを指摘する。

フォローアップ

クラスの中に子供のときからの会員でなく途中で改宗した会員がいたら、その姉妹に回復された神権の権能によるバプテスマが彼女にとってどんな意味があるか話すよう頼みなさい。さもなければ一人の姉妹にバプテスマの儀式に伴う責任に対する自分の家族の反応について簡単に話してもらいなさい。

序

このレッスンは先月にひきつずいて神権の権能を通して行われた儀式に明らかなように福音の律法について考えるものである。一般に扶助協会の姉妹たちが考える儀式というのは身近なものであって、身近すぎて結び固めの聖約としての儀式の重要さや働きに関してのいくつかの点を見落しがちである。次の質問はこのレッスン中で考える二つの儀式に関するものである。

(1)教会の仕事をするように責任を与えられた姉妹にとって聖任の儀式はどのように役立つか？

(2)古代の犠牲の律法は主の聖さんとどのような関連があるか？

(3)この儀式にはどのような約束が含まれるか？

聖任

聖任という言葉は扶助協会の会員すべてにとって身近な言葉である。この権能を授与するために定められた儀式―特別な資格を持って行うのであるが―に多くの人に関係したことがあるはずである。正当なる神権の権能をもって接手礼によって執り行なわれるこの儀式には、特別な教会の責任を受ける場合には満場一致による会員の承諾と賛成がなければならない。

最高幹部、教会内のその他の幹部役員、及びそれに準ずる人々を除き、聖仕された人々ははっきりと定められた地理的な区域の中においてその職分を果たすよう権能を与えられる。（メルケゼデク神権者用手引一九六七年度用第二六課一九四頁英文）

聖任するということは、その人がある特別な教会の仕事に任命されたという趣旨を単にのべることではなく権能の授与、及びその特別な任務に関する義務と責任をも含んでいるのである。

聖任式を執り行なう神権者は与えられた特定な仕事をするはずの人を導くための指示、助言及び祝福をも与えることができる。

こうして聖任の儀式は祈りの一般的な形をとるのである。まず聖任する人の姓名を呼び、この儀式が主イエス・キリストの御名と神権の権能によって行なわれることがのべられる。

各補助組織の役員は正当な神権の権能によって正式に任命される。このようにステーキ部扶助協会役員は面接を受け、承認され、支持された後、ステーキ部長、またはその正当な代理人によって任命されるのである。ワード部での責任を与えられた役員は監督またはその正当な代理人によって任命される。「教会の方針によって補助組織の先生は任命する必要がない」（同右）

討論

1 教会の特定な仕事に召されることは人をどのように立場におくか？

2 扶助協会の特定な職に任命された姉妹にはどんな義務が生ずるか？

3 扶助協会役員に対して扶助協会の会員はどのような責任があるか？

4 従うことはどのような点で指導することと同様に大切であるか？

会長会の原則

各役員が任命されるということから、会長会の原則は「責任の委託」に密接に関連がある。扶助協会に関しては、扶助協会ステーキ部、またはワード部会長会の各役員はそれに付随する責任と共に特別な召しが与えられている。会長は頭であり、その責任は導き、管理し、最終決定を下すことである。副会長は助け、助言を与えるために召されている。長い会長は大切な決定をするときには必ず副会長に相談の上判断するのである。このようにして調和と目的の一致が得られる。

副会長はその召しが自分たちに与えている権能を認めるべきである。助言や助けを与えて会長に忠実であるばかりでなく、会長の役職を決定を尊重する。

家庭内でのこの原則は家の長である父親は妻と相談し、妻の助けと助言を感謝することである。

一方妻は一家の長としての夫の役割を認め敬意を表すのである。このように目的の一致、一体の努力そして調和が幸福な結果をもたらすのである。

クラス討論

1 会長会の原則を認織することにおいて調和が大切であるといういくつかの特質をあげなさい。

2 ワード部扶助協会が調和のとれた発展をするためには、会員の助けと理解がどんなに大切か考えなさい？

私を記念するため、このように行ないなさい（ルカ伝二二・一九）

予言者ジョセフ・スミスを通して与えられた啓示の中に安息日の神聖さが次のように強調されている。

汝なおさら充分に世の汚れに染まざるよう、祈りの家に行きてわが聖日に汝の聖式を捧ぐべし。（教義と聖約五九・九）

この誡命に含まれているように安息日を聖く保つということは個人の聖さんを捧げることである。

「聖さんは神と人との間の霊的な契約である」（メルケゼデク神権者用手引一九一七年度第二三課一七二頁英文）主の晩さんとして知られている聖さんにおいて信者たちは常に御子を忘れず、御子の御名を喜んで受けその誡命を守ることを天父と約束するのである。

このように聖さんの儀式は地上の神の王国の会員たちが主に仕え、誡命を守るという神聖な約束をし、またそれを新にする儀式なのである。聖さんというのは、主の犠牲を覚えるために神権の権能によってその目的のために祝福し準備したパンと水にあずかることから成る。儀式の一部として成される約束は福音中もっとも神聖で厳粛なものである。（メルケゼデク神権者用手引一九六七年度、第二三課一七二頁英文）

最初の両親について

「アダムが死ぬべき肉体となってから最初の大きな霊的経験は犠牲の律法を知ったことである。最初の再親に関して聖典には——

——主、彼らに誡命を下して宣いけるは、主なる汝らの神を礼拝し、主に供物としてその羊の群の中の初子を捧ぐべしと。アダムは主の誡命によく従いぬ。多くの日を経て、主の天使一人アダムに現れて言いけるは、汝何故に主に犠牲を捧ぐるやと。

アダム彼に言いけるは、われその救いを知らず、ただ主の誡命に従うのみ。ここに天使語りて言いけるは、この犠牲を捧ぐることは、御父の生みたもう恩恵と真理に満てるただ独子の御子の犠牲となりたもうことのひながたなり。このゆえに、汝のなすすべてを御子の御名によりてなせ。また汝悔い改めて今よりいつまでも御子の御名によりて神を呼ぶべし。（モーセの書五・五—八）（メルケゼデク神権者用手引一九六七年度第二三課一七三頁英文）

犠牲の律法

最初の人間に始まり、四千年もの長い間天父なる神は将来行なわれるであろう御子の贖いの犠牲に似せて人間が犠牲を捧げるよう命じ給うた。四千年の間家長、予言者及び聖徒たちは犠牲の祭壇にけがれのない初子を捧げた。これらの犠牲は神の子羊がその血と身代の犠牲によって世の罪を贖うことを意味している。（ブルース・R・マッコンキー著 Doctrinal New Testament Commentary 巻一 ユタ州ソートレーク市 Bookcraft Publishers 一九六五年七一八頁英文）

メルケゼデク神権者用手引一九六七年度第二三課一七二—一七三頁（英文）

古代アメリカにおける犠牲

犠牲の律法はパレスチナのユダヤ人だけが知っていた訳ではなかった。古代アメリカのニーファイ人も同様に人間の罪の贖いが行なわれることを教えられていた。

救い主の誕生以前にアミュレクは将来贖が必要であることを証詞して次のように言った。

なぜならば、最大にして最後のいけにえを捧げる必要があるからである。このいけにえは人のいけにえでもなく、また鳥や獣のいけにえでもなく、およそ人の供えるようないけにえでなくて無限無窮のいけにえでなくてはならない。

それであるから偉大な最後のいけにえを供えるのは必要なことである。このいけにえを供えたら、いけにえの血を流すことは止まる。（アルマ書三四・一〇、一三、メルケゼデク神権者用手引一九六七年度第二三課一七四頁英文）

後に復活したイエスがニーファイ人を訪れたとき、古代の犠牲の律法を止めることを確認し次のようにいわれた。

これより後、汝らは血を流すことを以ってわれにいけにえを供うべからず。われはもはや汝らのもろもろのいけにえと火祭とを正当なるものとして受け容れざればことごとくこれらを廃めよ。これより後、犠牲としてわれに捧ぐべきものは、真にへりくだる心と悔いる精神なり。およそ真にへりくだる心と悔いる精神とを抱きてわれに来る者は、われこの者にみな火と聖霊と以ってバプテスマを施さん……。（ニーファイ第三書九・一九—二〇、メルケゼデク神権者用手引第二三課一七四頁英文）

時の絶頂に

聖さん式はキリストの犠牲の贖いの記念であることは扶助協会の姉妹たちはよく知っているが、この聖さん式はときの絶頂に救い主が「犠牲の古いやり方にとって代る」よう決められたものであることを知らない人がいるかもしれない。（同右）

犠牲がこのように偉大な出来事によって終るはずであったので、これに代る新しい儀式、すなわち聖徒の心を無限で永遠なる贖いに集中させる儀式が必要になったのである。そこでイエスは過ぎこし

の祭を祝い、律法に完全に守り従い、主の晩さんの聖さんの聖さん式を始められたのである。犠牲は終り、聖さん式が行なわれるようになった。それは古い時代の終りであり、新しい時代の始りであった。聖さん式は神の子羊が流された血と傷ついた肉の記念の象徴に、古代に動物の血を流したのと全く同じことを表すパンとぶどう液で行なうようになった。（第二三課一七四―一七五頁英文）

主の晩さんの聖さん式

聖さんの儀式はときの絶頂に救い主御自身によって始められたものである。それはエルサレムであった。ときは十字架による処刑の少しまえ、過ぎこしの祭りの祝の間であった。

過ぎこしの祭り、聖なるユダヤの記念祭はエジプトにとらわれの身であったイスラエルの民が救われたときに始まった。救い主が地上におられた時代、人々は「神が力の御腕をのばしてイスラエルを救い出したもうたことを記念するために定められた。その前に破壊の天使はエジプト人のすべての家を訪ずれてすべての初子を殺したが、めぐみをもってヤコブの子らの家をすぎこし、すべての初子を助けた」（ジェームス・E・タルメッジ、キリスト・イエス一三巻一一二頁（英文）ことを記念して毎年行なわれる催しに参加するため四方からやってきた。

明確で詳細な儀式はこの聖い祝いに関連がある。過ぎこしの祝いの小羊を食べる前日、「家族または一緒に食べるグループの代表者が神殿の中で犠牲にさげるために選ばれた小羊を殺し、その各々の小羊の血の一部が犠牲の祭だんの足もとにかけられた。……そして犠牲に捧げられた羊はその肉を食べるために人々が集ることにきめられていた場所に運ばれた」。（同書五九三頁英文）

弟子の以人かが過ぎこしの食事の準備をどこでしたらよいかイエスにたずねた。彼はペテロとヨハネにエルサレムへもどるように次のように命じた。

……イエスは言われた「市内にはいったら、水がめを持っている男に出会うであろう。その人がはいる家までついて行って、その家の主人に言いなさい『弟子たちと一緒に過ぎこしの食事をする座敷はどこか、と先生が言っておられます』。すると、その主人は席の整えられた二階の広間を見せてくれるから、そこに用意をしなさい。弟子たちは出て行ってみると、イエスが言われたとおりであったので、過越の食事の用意をした。

時間になったので、イエスは食卓につかれ、使徒たちも共に席についた。イエスは彼らに言われた「わたしは苦しみを受ける前に、あなたがたとこの過越の食事をしようと切に望んでいた。（ルカ伝二二・一〇―一五）

救主が死の直前に最後の食事をとるために弟子たちと共にこの二階にやってきたのはもっとも大切な福音の儀式を紹介するためであった。

イエスは過ぎこしの祭りに欠くことのできない物事をごらんになったと思われる。しかし昔からの伝統に従ってこの聖なる儀式が行なわれたかどうかについての記録はない。しかしながら、まもなく世の罪を負って十字架にかけられるイエスの目の前で裏切りに先立っての予言の言葉とイエスの犠牲の記念の儀式の紹介は、この過ぎこしの食事――主の最後の晩さん――を特別なものにしたのである。

ニーファイ人の中で定められた

ニーファイ人への短い伝道の間に第三　ニーファイに記されているように、復活した主は聖さんの儀式を教え、信ずる人々の中でこの儀式を続けて行なうことに関して指示を与えた。

今われはパンを裂きこれを祝して汝らに与えたるが、汝らも常にかくのごとくこの儀式を行なわざるべからず。これをわれが汝らに現わしたるわが体の記念に行なえ。さらば、汝らはこの儀式によりてたえずわれを記念すると言う証明を御父になすを得ん。もし汝らがたえずわれを記念せば、わが「みたま」必ず汝らと共に在らん」と。（第三ニーファイ一八・六―七　メルケゼデク神権者用手引　一九六七年　On Earth and in Heaven　レッスン二三課　一七七頁　英文）

パンとぶどう液の上に行なわれた祝福は新約聖書中には記録されていないし、第三ニーファイに記されている儀式を教えた際、ニーファイ人にこのような記録が与えられたという記録もないが、しかし「ニーファイ人に祝福が与えられ、何世紀もの後モロナイによってモルモン経中に書き入れられたのである」（モロナイ書四及び五章）（同右）

末日聖徒に与えられた啓示によって、教義と聖約中に聖さんを祝福する祈りの言葉を見出すことができる。（二〇章）この祝福の言葉を注意深く読んでみると、聖さんにあずかる価値のある者及びこの聖なる儀式の必要条件を守る者すべてへの聖い約束が明らかにされている。

クラス討論

1　聖さん式は救いの儀式か、それとも祝福の儀式か？

2　聖さんをいただくとき私たちはどんな約束をするのか？

3　どんな祝福を受けるか？

4　（あなた自身のしている態度から判断して）聖さんをパスする間、大部分の大人は救い主やその犠牲について特に

考えていると思うか？　話し合いなさい。

5　聖さんにあずかることによって「聖約を新にする」とはどういう意味か？

私たちが真にへりくだった心と悔いる精神とをもって聖さんをうけ、イエスの御名をよろこんで受け主の誡命を守るときのみ（この儀式によって）主のみたまが私たちと共にましますことを約束されるのである。私たちが与えられた召しに対する奉仕をすればする程、聖任の儀式がもたらした祝福を知るようになるのである。

汝らわが言うところを行なわば、主なるわれこれに対して責任あり。されど、汝らわが言うところを行なわずば汝ら何ら約束を受けず。

課題

1　主の晩さんに対するあなた自身の態度を分析してごらんなさい。あなた個人の聖約を新たにする機会としてあなたがした約束を考えることによってこの儀式があなたにとってより有意義なものになるよう努めなさい。

2　あなたの子供たちが聖さんの重要さを理解するよう教えなさい。

3　聖さん会に常に出席することの価値をよく考えなさい。

クラスリーダーのためのノート

このレッスンをするに当り、これらの儀式が各人の生活に、また一緒に生活する人々に直接どのような影響を及ぼすかを強調すること。

ホームメーキング

セレスティア・J・テイラー

ホームメーキング教育を通しての発達

働いて得られる以上の望みを持ってはなりません。

目標　クレジットを上手に利用することは家族の収入を資することにもなるが、多すぎると家族の幸福に対する危険なかけとなり得ることを述べる。

ノート　この課の資料、原則は目標を変更せずに世界の各地域でその文化、生活様式にあわせる必要があるでしょう。

序

末日聖徒は教会の指導者たちによって負債を避けるようにといわれています。負債について考えるとそれによって引き起こされる重大な問題や不幸が思いおこされます。クレジットは実際に収入が入る前にそれを使うことであり、クレジットや月賦買いは賢明に行なわないと重大な財政困難におちいってしまうでしょう。財政運営計画をいかに注意深く行なっても、クレジットを利用することが必要な場合が時々あります。アメリカのみならず他の国々でも同様に現代経済機構の性格はクレジットのシステムにのっとっています。電話の月賦と利用は一般に行なわれていますし他のほとんどの取引きが業者と取引先の間にたてられたクレジットの機構に頼っています。一般の商業銀行はおとくいに対する他のサービスと並んで商業クレジットを提供するために組織されています。クレジットは個人や家族の能力、評判、性格に信用をおいて行なわれます。これは〝信用評価〟といわれ現代の商取引きでは当然のことなのです。自立している家族はクレジットを緊急のときに自信を持って自重の気持で利用できます。しかし心の満足と安寧のために必要であるならば、すでに過重な財政状態を支える杖としてでなく家族の経済の未来をひろげる道具としてクレジットは賢明に使われねばならないでしょう。

クレジットの利用

もしそれを有益にしようとするなら、クレジットの用い方を理解するのは必須のことです。クレジットはそれを使うときに賢こい選択と決定によって決められ、家族の賛成を得る家族すべての計画の一部分としてみられるべきです。クレジットの利用は購買力を増して余分の品物やサービス提供を可能にしますが、それと共に、借りたお金やクレジットの返済も結局同様になされなくてはならないのです。クレジットは単にくりのべた支払いであって、それには普通、割り増しの金額がふくまれています。たとえば二一九ドルの冷蔵庫を月賦払いで買うとすると業者は二十ドルを頭金として二十四カ月に一カ月十ドルの支払いを請求します。

クレジット……二六十ドル
現金……二一九ドル
差額……四一ドル

四一ドルの節約は前もってお金をためて冷蔵庫を現金で買おうと決める重大な要素でしょう。クレジットをよく利用するために消費者は契約用語に通じていなくてはなりません。そのように利用して得る満足はお金の価値があります。クレジットの荷が支払い期間中家族に緊張をひきおこすほど重くてはいけません。手数料、罰金、給料の天引き、品物や財産のさしもどしなどの余計な冒険を最小にしてもっともよい買物ができるために、クレジットや月賦購入のどの型がよいかを完全に分析することが必要です。ある場合には運送料や一年かそれ以内の間の支払いがいらないこともあります。一年以内で完全に支払いできる購入契約をすることは賢明でしょう。多くの人々はクレジットがお金のかかることを知っておらず、彼らはただ支払い

が月にいくらであるかを知っているだけです。個人と家族の幸福に貢献する所法でクレジットを使うのを学んだときに始めて、クレジットの使用が正しいといえるのです。

どのようなときにクレジットの利用が正しいといえるでしょうか

クレジットの利用は支払いが支払い能力を越えるなら決してよいことではありません。

クレジットの利用は簡単なのである家族にとっては支出を収入と調和させるのを難しくします。財政を営む多くの家族は必要な品物の購入のためにクレジットを使ってそのために利益をうけていますが、一方ある人々は次から次へとコントロールできない負債に追いかけられています。クレジットで何を買ったらよいでしょう?——家、車、家具? あるものを得たいという望みだけでその購入を正当化するに充分でしょうか?

ふくまれている危険を討論しなさい。

クレジット利用の一つの妥当な理由は購買力を追加できることです。特殊な分野や職業の訓練をもふくむ教育はクレジット計画で財源を増すことができます。事業経営の必要品の購入もこの領域にふくまれるでしょう。

討論

正直にありのままを答えたらクレジット使用の賢こい決定をする案内となる。家族の考えなくてはならないいくつかの質問があります。

1 クレジットの利用は家族が支払いを余分にするだけの価値がありますか?

2 家族予算はクレジットローンを受けいれられますか? 支払いが完全に期間内で出来ますか?

3 この方法は家族全体のためによいことですか?

4 クレジットで絶対必要な満足や有益を得られますか?

5 予期しない落し穴やかけの心配がおきないように契約用語が完全に理解されていますか?

もしこれらすべての質問にはいと答えられなかったなら彼らは危険な道を歩いていることでしょう。彼らは適当でない負債の契約によって将来を危うくすることを慎しまなくてはなりません。ソープ・B・アイザックソン長老は一九六三年四月の大会で話された言葉の中で次のアドバイスを与えられました。

夫婦が机にすわりいっしょに財政を一つ一つ調べて特に負債にはかかわらず、それを避けた計画をたて契約の責任を払うという方法を知らずにそれに深入りしないことはよいことでしょう。婦人が夫の財政についてもっとよく知り、自身の家族のうちで健全な財政計画をもつようにするのはよいことでしょう。奢侈や浪費をせずに節約の原則を実践して収入の全部を使ってしまわずに将来のために、少しづつ貯えるのはよいことでしょう。あるものを買うことのできるときまでそれなしでやっていけたらよいことでしょう。

クレジット買いの利点と欠点を表にあげなさい

欠点

1 負債を負う。

2 品物の値段が高くなる。

3 超過購入や浪費がなされがちである。

4 現金を払わないとき、買い手はときどき支払いの責任を小さく感じるものである。

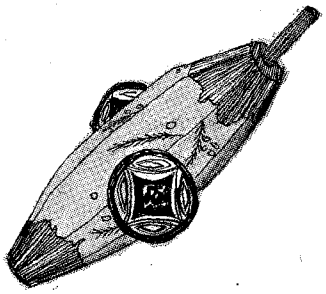
5 予期しない緊急事がおきて支払いをむずかしくするかもしれない。

利点

1 買い手は支払いのときから品物を使うことができる。

2 支払いとして強制されなくてはお金をためることの出来ない人にとって月賦購入はよい倹約になるかもしれない。

3 ある品物はそうでなくては得るのが不可能であるかもしれない。



図書案内

教義と聖約
高価なる真珠
モルモン経　上質革製合本　一一〇〇円
教義と聖約
高価なる真珠　合本……三〇〇円
モルモン経（新約）……一八〇円
信仰箇条の研究……三三〇円
基督・イエス……三〇〇円
末日聖徒イエス・キリスト教会略史……一一〇円
モルモンとは（新版）……一五〇円
総合聖句の手引……一五〇円
メルケゼデク神権、教師と生徒用
神権とあなた……四五〇円
私たちの生きた福音……二五〇円
神の王国……二三〇円
アロン神権者用学科課程……一五〇円
アロン神権のなかの祭司……一八五円
回復された神の教会……一〇〇円
神と人……二〇〇円
家庭に於ける神権の発揚……一五〇円
モルモン経の新研究……三三〇円
日本系図探求要覧……一一五円
扶助協会手引……一五〇円
求道者教育法……一六〇円
モルモン物語……一、〇〇〇円

日曜学校用

モルモン経物語……一五〇円
旧約聖書物語……一五〇円
福音の実践……二〇〇円
我等の標準聖典……二〇〇円
古代の使徒……一五〇円
教義と聖約の教え……二〇〇円
福音の紹介……一七〇円
完成への道……一〇〇円
宗教と生活……一五〇円
奇しきみわざ（合本）……二七〇円
〃（下）……一七〇円
家督権の祝福……一〇〇円
家族の昇栄……二〇〇円
シオン山の救い手たち……二〇〇円
レッスンの手引……六〇円

MIA用

MIAの手引……一二〇円
我らは信じる……二〇〇円
我らは生きる……一二〇円
我らは奉仕する……一五〇円
よりよいあなた……一七〇円
生活の目標……一五〇円
今日の十誡……二五〇円

エンサインローレルの手引……一五〇円
演説が上手になる法……一五〇円

ロールブック

MIA……一〇〇円
扶助協会……一〇〇円

讃美歌及び歌集

末日聖徒讃美歌集（新版）……四〇〇円
〃（小）……三〇〇円
リクリエーション歌集……四〇〇円

その他ブックカバーなど

モルモン経カバー……二〇〇円
教義と聖約カバー……二〇〇円
信仰箇条の研究用カバー……二〇〇円
聖餐カップ（一箱）……二五〇円
ブレッドトレイ（プラスチック）……一、〇八〇円
ウオータートレイ（プラスチック）……二、五二〇円
LDSピン……一〇〇円
モルモンバッヂ……一五〇円
テンプルバインダー（二六穴）……三〇〇円

図書の購入は支部長会に申し出てください

聖徒の道は
私たちが真理を知る「てだて」であり
私たちの心と心がかよう道です
あなたの霊の進歩のために
あなたの信仰のかてのために
お役に立つ本であればと思います

聖徒の道
一九六七年十月一日発行
振替口座　東京一六二二六番
発行人兼編集人　アドニー・Y・小松
発行所　東京都港区南麻布五丁目八番十
末日聖徒イエス・キリスト教会
電話　四七三―一六一三
印刷所　株式会社三五堂
定価七十円
一年予約七〇〇円（申込は支部長まで）

支部所在地

北海道地方部

旭川	旭川市8条5丁目 MIA集会所　旭川公会堂 電話（0166―2―1545）
室蘭	室蘭市幸町89 電話（0143―2―7054）
小樽	小樽市富岡町1―35 電話（0134―2―8224）
札幌	札幌市南20条西16丁目 電話（0122―56―7175）

東中央地方部

群馬	高崎市並榎町275 電話（0273―22―7121）
甲府	甲府市中央3丁目12―2 電話（0552―3―2409）
松本	松本市開智1―1―6
新潟	新潟市中大畑町557 電話（0252―22―8660）
仙台	仙台市光禅寺通り28 電話（0222―25―0897）
東京中央	東京都港区北青山3―6―4 電話（03―400―3307）
東京北	東京都中野区江原町1―8―14 電話（03―953―8244）
東京東	東京都江戸川区西小岩5―8―6 電話（03―658―7310）
東京南	東京都大田区南千束町2―25―11 電話（03―729―6311）
東京西	東京都武蔵野市吉祥寺東町1―7―7 電話（0422―22―6764）
山形	山形市七日町4―12―23 電話（02362―3―3380）
横浜	横浜市港北区篠原町29 電話（045―401―8772）

西中央地方部

阿倍野	大阪市阿倍野区阪南町中1―11―8 電話（06―623―4315）
福岡	福岡市浄水町46 電話（092―52―8653）
広島	広島市高須2―7―29 電話（0822―71―5309）
金沢	金沢市兼六元町3―8 電話（0762―21―2131）
京都	京都市左京区下鴨松原町44
名古屋	名古屋市昭和区北山町3―41 電話（052―731―4210）
西ノ宮	兵庫県西ノ宮市仁川町4―54 電話（0798―51―0141）
岡町	大阪府豊中市岡町北2―18 電話（068―52―1236）
岡山	岡山市学南町1―13―11 電話（0862―52―3560）
三ノ宮	神戸市灘区篠原本町4―35 電話（078―86―2602）
柳井	山口県柳井市今市391

沖縄地方部

普天間	沖縄宜野湾市野嵩区328
那覇	沖縄那覇市崇元寺町1―128―20 電話（3―1620）

建築部事務所　東京都港区北青山3―6―4
電話（400―4080）

（誤りのある支部の支部長はご一報ください）

一九五八年三月十七日第三種郵便物認可（毎月一回一日発行）
第十一巻第十号
一九六七年十月号